

厚生労働大臣 殿

開設者名 公益財団法人がん研究会
理事長 浅野 敏雄

公益財団法人がん研究会有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
氏名	公益財団法人がん研究会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

公益財団法人がん研究会 有明病院

3 所在の場所

〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
電話(03) 3520 - 0111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
○	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
○	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							

1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」

(注) 「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科		2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科		8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4)歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	乳腺内科	2	腫瘍内科	3	疼痛緩和内科	4	形成外科	5	頭頸部外科
6	病理診断科	7	脳腫瘍外科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
0	0	0	0	686	686	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	390	142	418.04
歯科医師	6	3	6.4
薬剤師	77	1	77.4
保健師	0	0	0
助産師	0	0	0
看護師	837	5	840.5
准看護師	2	0	2
歯科衛生士	5	0	5
管理栄養士	19	0	19

職種	員数
看護補助者	58
理学療法士	10
作業療法士	2
視能訓練士	2
義肢装具士	0
臨床工学士	12
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	94

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	95
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	11	
その他の技術員	68	
事務職員	180	
その他の職員	45	

1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

(注) 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	28	眼科専門医	1
外科専門医	85	耳鼻咽喉科専門医	9
精神科専門医	3	放射線科専門医	18
小児科専門医	0	脳神経外科専門医	3
皮膚科専門医	2	整形外科専門医	7
泌尿器科専門医	8	麻酔科専門医	40
産婦人科専門医	25	救急科専門医	4
		合計	233

1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

(注) 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (佐野 武) 任命年月日 2018 年 7 月 1 日

医療安全管理委員会 委員
 2016年 7月 1日 ~ 2018年 6月 30日 (2年間)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	511.3 人	0 人	511.3 人
1日当たり平均外来患者数	1,751.6 人	40.8 人	1,792.4 人
1日当たり平均調剤数	1,487.5		剤
必要医師数	151.4925		人
必要歯科医師数	3		人
必要薬剤師数	19		人
必要(准)看護師数	315		人

1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

(注) 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	有
集中治療室	422.31 m ²	SRC	10 床	有	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	209.89	m ²	病床数	26 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	47.06			m ²
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	416.7 m ²	SRC	(主な設備)	日立ラボスペクト008、日立ラボスペクト006、アーキテクトi2000、ルミパルスプレスト、ルミパルスG1200、ラボフレックス3500、コールターDXH、STA-R、US-3100R、FOBIT-WAKO		
細菌検査室	78.25 m ²	SRC	(主な設備)	マイクロスキャンWalkAway96、コバスタqMan48		
病理検査室	378 m ²	SRC	(主な設備)	免疫染色装置、FISH解析装置、DISH解析装置、HE自動染色装置、OSNA法による転移診断装置、PCR装置、PT-PCR装置、シーケンサー(Sanger型)など		
病理解剖室	72.25 m ²	SRC	(主な設備)	写真診断装置、ストライカーなど		
研究室	1519 m ²	SRC	(主な設備)	遺伝子解析システム、サーマルサイクラーなど		
講義室	370 m ²	SRC	室数	3 室	収容定員	272 人
図書室	161.38 m ²	SRC	室数	1 室	蔵書数	22,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	94.6	%	逆紹介率	93.4	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		8,944		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,738		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		918		人
	D: 初診の患者の数		10,429		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属 病院 患者安全推進部教 授	○	医療安全に関する業務 及び研究への従事経験 を有するため	無	1(医師)
大滝 恭弘	帝京大学医療共通教育 研究センター教授		法曹資格を有し、医療安 全に関する研究を行って いるため	無	1(弁護士)
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務め ており、医療を受ける者 の立場の代表として。	無	2(医療を受ける者)

- 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 (注) 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
公益財団法人がん研究会有明病院ホームページにて公表 https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	2人
ゲムシタビン静脈内投与、ナブ-パクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法	0人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ-パクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	1人
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	5人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計	4
扱い患者数の合計(人)	8人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	重症筋無力症	1	56		
2	神経線維腫症	8	57		
3	全身性エリテマトーデス	3	58		
4	マリネスコ・シェーグレン症候群	4	59		
5	特発性血小板減少性紫斑病	4	60		
6	下垂体前葉機能低下症	1	61		
7	原発性硬化性胆管炎	1	62		
8	原発性胆汁性肝硬変	1	63		
9	パージャール病	1	64		
10	クローン病	1	65		
11	潰瘍性大腸炎	13	66		
12	IgG4関連疾患	1	67		
13	骨軟化症	2	68		
14	ベーチェット病	1	69		
15	クローンカイト・カナダ症候群	1	70		
16			71		
17			72		
18			73		
19			74		
20			75		
21			76		
22			77		
23			78		
24			79		
25			80		
26			81		
27			82		
28			83		
29			84		
30			85		
31			86		
32			87		
33			88		
34			89		
35			90		
36			91		
37			92		
38			93		
39			94		
40			95		
41			96		
42			97		
43			98		
44			99		
45			100		
46			101		
47			102		
48			103		
49			104		
50			105		
51			106		
52			107		
53			108		
54			109		
55			110		

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	15
合計患者数(人)	43

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類
初診料(歯科)の注1に掲げる基準
歯科外来診療医療安全対策加算1
歯科外来診療感染対策加算1
初診料(医科)の注16及び初診料(歯科)の注15に規定する医療DX推進体制整備加算
特定機能病院入院基本料 7:1 —告示注11(入院栄養管理体制加算)
救急医療管理加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算1 30:1
急性期看護補助体制加算 25:1—告示注2 夜間100対1、告示注3 夜間看護体制加算
看護職員夜間配置加算 12:1配置加算1
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
無菌治療室管理加算1
無菌治療室管理加算2
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)
緩和ケア診療加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
感染対策向上加算1—告示注2指導強化加算、告示注5抗菌薬適正使用加算
重症患者初期支援充実加算
患者サポート体制充実加算
報告書管理体制加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算
後発医薬品使用体制加算3
病棟薬剤業務実施加算1
病棟薬剤業務実施加算2
データ提出加算2及び4

入退院支援加算1—入院時支援加算

せん妄ハイリスク患者ケア加算

特定集中治療室管理料3—早期離床・リハビリテーション加算、早期栄養介入管理加算

緩和ケア病棟入院料1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類
外来栄養食事指導料の注2に規定する基準
外来栄養食事指導料の注3に規定する基準
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ
がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料ハ
がん患者指導管理料ニ
外来緩和ケア管理料
小児運動器疾患指導管理料
婦人科特定疾患治療管理料
夜間休日救急搬送医学管理料—救急搬送看護体制加算
外来放射線照射診療料
外来腫瘍化学療法診療料1—連携充実加算
—がん薬物療法体制充実加算
療養・就労両立支援指導料—相談支援加算
がん治療連携計画策定料
薬剤管理指導料
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
医療機器安全管理料1
医療機器安全管理料2
歯科治療時医療管理料
遺伝学的検査
BRCA1/2遺伝子検査
がんゲノムプロファイリング検査
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
検体検査管理加算(Ⅰ)
検体検査管理加算(Ⅳ)
国際標準検査管理加算
遺伝カウンセリング加算

遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ロービジョン検査判断料
前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
画像診断管理加算1
画像診断管理加算2
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
CT撮影及びMRI撮影
冠動脈CT撮影加算
心臓MRI撮影加算
乳房MRI撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料
ストーマ合併症加算
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
がん患者リハビリテーション料
リンパ浮腫複合的治療料
集団コミュニケーション療法料
歯科口腔リハビリテーション料2
硬膜外自家血注入
導入期加算1
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
センチネルリンパ節加算
自家脂肪注入
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料の施設基準
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)

鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(乳がんセンチネルリンパ節加算2)
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))
及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

腹腔鏡下腭腫瘍摘出術
腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術
腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下腭頭部腫瘍切除術
腹腔鏡下腭頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下腭中央切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
内視鏡的小腸ポリープ切除術
骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
精巣温存手術
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。) (医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術)
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
輸血管理料Ⅰ
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯周組織再生誘導手術
麻酔管理料(Ⅰ)
麻酔管理料(Ⅱ)
放射線治療専任加算

外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
強度変調放射線治療(IMRT)
画像誘導放射線治療(IGRT)
体外照射呼吸性移動対策加算
定位放射線治療
定位放射線治療呼吸移動対策加算
画像誘導密封小線源治療加算
デジタル病理画像による病理診断
病理診断管理加算2
悪性腫瘍病理組織標本加算
口腔病理診断管理加算2
クラウン・ブリッジ維持管理料
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場 合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
看護職員処遇改善評価料62
外来・在宅ベースアップ評価料(1)
歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
入院ベースアップ評価料103

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<input checked="" type="radio"/> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 <input type="radio"/> 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年4回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	8例
	剖検率(%)	1.90%

(注) 1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こと。
 (注) 2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
					委	
1	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	高橋俊二(分担)	有明病院 総合腫瘍科	400,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
2	高齢者多発性骨髄腫に対する標準治療の確立と治療効果・耐性獲得に関わる分子基盤の探索	丸山大	有明病院 血液腫瘍科	8,510,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
3	未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	丸山大(分担)	有明病院 血液腫瘍科	300,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
4	MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第Ⅰ相試験	北野滋久(分担)	有明病院 先端医療開発科	800,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
5	早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	徳増健二(分担)	有明病院 放射線治療部	150,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
6	臨床病期Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ食道癌(T4を除く)に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第Ⅲ相試験	渡邊雅之(分担)	有明病院	50,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
7	前立腺がん高特異度二次検査マーカーPSA G-Indexに対する前臨床試験	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	19,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
8	切除不能進行・再発大腸がんを対象としたタンキラーゼ阻害剤の医師主導第Ⅰ相試験	清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	116,050,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
9	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	大橋学(分担)	有明病院 消化器センター消化器外科 胃外科	300,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
10	非浸潤性乳管癌(DCIS)に対する有効かつ安全な患者 QOL の向上をめざした手術省略による新たな標準治療開発のための多施設共同臨床試験	原文堅(分担)	有明病院 乳腺センター乳腺内科	300,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
11	未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するオビヌツズマブ+ベンダムスチン療法後のオビヌツズマブ維持療法の省略に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	寺内隆司(分担)	有明病院 画像診断センター	1,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
12	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究	尾阪将人(分担)	有明病院 肝胆膵内科	1,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)

13	インターフェロン応答異常によるがん免疫療法耐性機構の解明と新規耐性克服併用療法の開発	片山量平	がん化学療法センター 基礎研究部	19,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
14	進行直腸癌に対する導入/強化化学療法を併用した化学放射線療法後の待機療法に関する多施設ランダム化第II相試験	秋吉高志	有明病院 大腸外科	20,100,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
15	乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対するスマホ精神療法の開発:革新的な分散型基盤を用いた多機関共同無作為割付比較試験	大野真司 植弘奈津恵(分担)	有明病院 乳腺センター 有明病院 乳腺外科	200,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
16	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究	尾崎由記範(分担)	有明病院 乳腺センター 乳腺内科	700,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
17	高齢者切除可能膵癌に対する術前ゲムシタピン+S-1療法と術前ゲムシタピン+ナブパクリタキセル療法のランダム化比較第III相試験 JCOG2101C	尾阪将人(分担)	有明病院 肝胆膵内科	1,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
18	局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する第III相試験	布部創也(分担)	有明病院 消化器センター 消化器外科 胃外科	800,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
19	cT1-4aN0-3胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	幕内梨恵(分担)	有明病院 消化器センター 消化器外科 胃外科	800,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
20	薬物療法により臨床的完全奏効が得られたHER2陽性原発乳癌に対する非切除療法の有効性に関する単群検証的試験	原文堅(分担)	有明病院 乳腺センター 乳腺内科	1,000,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
21	がんの本態解明から革新的な医療実用化に向けた一貫したマネジメントスキームの確立研究	中武真由香(分担)	がん研究所 所長研究室	500,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
22	悪性リンパ腫における遺伝子異常・免疫微小環境の全体像および臨床的意義の統合的解明	竹内賢吾(分担)	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	1,500,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
23	がん患者のオピオイド不応の神経障害性疼痛への標準的薬物療法の開発:国際共同試験ならびに普及実装に向けた研究	松本禎久(分担)	有明病院 緩和治療科	110,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
24	難治性がん(白血病等)の全ゲノム配列データおよび臨床情報等の収集と解析に基づく創薬等のイノベーションの創出をめざした研究	竹内賢吾(分担)	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	100,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
25	高齢者HER2 陽性進行乳癌に対する T-DM1療法とペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法のランダム化比較第III相試験	原文堅(分担)	有明病院 乳腺センター 乳腺内科	500,000	委	AMED委託費 (革新的がん)

26	Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験	福島啓文(分担)	有明病院頭頸科	600,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
27	解析・データセンターにおける情報システム基盤の研究と構築	鈴木一洋(分担)	有明病院 医療情報部、次世代がん研究シーズ育成プロジェクト	2,838,462	委	AMED委託費 (革新的がん)
28	非小細胞肺癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	柳谷典子(分担)	有明病院 呼吸器内科	500,000	委	AMED委託費 (革新的がん)
29	全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元および新たな創薬等の創出を通じた高度化がんプレジジョン医療の実践	上野貴之	有明病院 先端医療開発センター がんゲノム医療開発部	145,884,616	委	AMED委託費 (革新的がん・全ゲノム)
30	卵巣がんに対するゲノム医療の実装と新規治療戦略構築のための全ゲノムおよびオミックス解析研究	森誠一	がんプレジジョン医療研究センター 次世代がん研究シーズ育成プロジェクト	4,500,000	委	AMED委託費 (革新的がん・全ゲノム)
31	肺がん等の全ゲノム配列データおよび臨床情報等の収集と解析に基づく創薬等のイノベーションの創出のための基盤研究	片山量平(分担)	がん化学療法センター基礎研究部	700,000	委	AMED委託費 (革新的がん・全ゲノム)
32	オールジャパン体制による食道がん等消化器難治がんの全ゲノム配列データ及び臨床情報による先端的創薬開発・全ゲノム医療基盤構築	渡邊雅之(分担)	有明病院 消化器外科	1,900,000	委	AMED委託費 (革新的がん・全ゲノム)
33	慢性炎症を背景とした肝発癌の機序解明と肝癌高危険群の囲い込み法の開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所がんエピゲノムプロジェクト	3,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
34	BRAF V600E変異型切除可能大腸癌遠隔転移に対する個別化周術期治療の医師主導治験の実施	篠崎英司(分担)	有明病院 消化器化学療法科	1,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
35	PI3K 阻害剤のプロドラッグ化による新規肉腫治療薬開発に関する研究	旦慎吾	がん化学療法センター分子薬理部	73,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
36	切除可能な高頻度マイクロサテライト不安定性結腸直腸癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を用いた根治治療の有効性・安全性を検討する研究	秋吉高志(分担)	有明病院 大腸外科	3,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
37	子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊孕性温存療法に対するメトホルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験	温泉川真由(分担)	有明病院 婦人科	800,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
38	日・リトアニアにおける遺伝性乳癌の遺伝学的特徴の比較検討及び乳房MRIによる早期乳癌の検出能に関する研究	大野真司 稲荷均(分担)	有明病院 乳腺センター 有明病院 乳腺外科	250,000	委	AMED委託費 (厚労系他)

39	患者層別化マーカー探索技術の開発／ がん免疫モニタリングによる患者層別化を行う基盤技術の開発	北野滋久(分担)	有明病院 先端医療 開発科	8,800,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
40	進行性悪性黒色腫治療における抗PD-1抗体とのTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験	吉野公二(分担)	有明病院 皮膚腫瘍 科皮膚科	1,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
41	がん血管新生を促進する細胞内輸送促進経路の阻害剤の探索	田中美和	がん研究所 がんエピ ゲノムプロジェクト	1,100,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
42	がん切除後再建手術のための皮弁血流動態画像解析システムの開発	辛川領	有明病院 形成外科	13,080,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
43	ゲノムワイドイムノペプチドーム解析による個別化がん免疫療法標的ライブラリの構築	植田幸嗣	がんプレジジョン医療 研究センターがんオー ダーメイド医療開発プ ロジェクト	8,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
44	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	金尾祐之(分担)	公益財団法人 がん研 究会有明病院 婦人科	300,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
45	革新的RNA編集技術を用いた筋萎縮性側索硬化症の遺伝子治療開発	植田幸嗣(分担)	がん研究会がんプレ ジジョン医療研究セン ター	7,000,000	委	AMED委託費 (厚労系他)
46	糖鎖プロファイリング技術を基盤とした免疫チェックポイント阻害剤効果予測モデルの確立を目指した研究	芳賀淑美	がんプレジジョン医療 研究センター	5,000,000	委	AMED委託費 (次世代がん)
47	次世代がん医療加速化研究事業における先進的技術支援と効率的推進マネジメント	野田哲生	がん研究所	435,615,385	委	AMED委託費 (次世代がん)
48	PIK1作動薬による染色体動態の破綻を介したがん細胞増殖制御法の開発	高橋元子	がん研究所 実験病 理部	5,000,000	委	AMED委託費 (次世代がん)
49	TFE3関連腫瘍の微小環境を標的とした革新的治療法の開発	田中美和	がん研究所 がんエピ ゲノムプロジェクト	10,692,308	委	AMED委託費 (次世代がん)
50	Ribosome biogenesisを標的としたRAS変異大腸がん治療法開発	八尾良司	がん研究所 細胞生 物部	9,000,000	委	AMED委託費 (次世代がん)
51	エピゲノム異常を標的とした新規膀胱がん治療戦略の開発	高橋暁子	がん研究所 細胞老 化研究部	30,000,000	委	AMED委託費 (次世代がん)

52	がん臨床検体と革新的3D培養技術を応用した治療抵抗性機構と克服法の探索	片山量平	がん化学療法センター基礎研究部	9,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
53	循環腫瘍変異タンパク質を利用した革新的がん早期診断技術開発	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	9,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
54	空間的エピゲノム解析を用いた子宮体がんの腫瘍形成過程の解明と早期診断・予防のための新規バイオマーカーの同定	森誠一	がんプレジジョン医療研究センター 次世代がん研究シーズ育成プロジェクト	9,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
55	LPA受容体を標的とした骨肉腫など希少がんの新規治療法開発	高木聡	がん化学療法センター基礎研究部	22,307,693	委	AMED委託費(次世代がん)
56	グアニン四重鎖による翻訳制御を標的としたがん治療薬の開発	清宮啓之	がん化学療法センター分子生物治療研究部	17,407,693	委	AMED委託費(次世代がん)
57	タンキラーゼ阻害剤を用いたがん微小環境とがん幹細胞性の同時リプログラミングによる新規薬剤併用療法の開発	馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	22,307,693	委	AMED委託費(次世代がん)
58	線維化腫瘍に対する複合がん免疫療法の効果予測バイオマーカー確立	石本崇胤	がん研究所 発がん研究部	19,307,693	委	AMED委託費(次世代がん)
59	非翻訳RNA複合体の検出による乳がん晩期再発の早期診断・予測バイオマーカーの開発	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	9,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
60	免疫療法抵抗性遺伝子変異の共通分子を標的とした新規治療戦略の開発	北嶋俊輔(分担)	がん研究所 細胞生物部	1,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
61	iPS 細胞技術を用いた創薬スクリーニングによる希少難治性がん治療戦略の開発	片山量平(分担)	がん化学療法センター基礎研究部	3,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
62	抗体のポリマー修飾に基づく革新的免疫チェックポイント阻害剤の開発	菅原稔(分担)	がんプレジジョン医療研究センター がんゲノム医療開発プロジェクト	7,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
63	ハイドロゲルを用いたがんの不均一性制御の医療応用基盤開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所がんエピゲノムプロジェクト	1,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
64	エピゲノムの理解に基づく小児脳腫瘍の新規治療標的の同定を目指した研究開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所がんエピゲノムプロジェクト	2,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)

65	脳腫瘍と神経細胞のコミュニケーションの理解を基盤とした新しい脳腫瘍治療戦略に関する研究開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所がんエピゲノムプロジェクト	1,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
66	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	大橋学	有明病院 消化器センター胃外科	250,000	委	国がん研究開発費
67	オミックス情報を活用した新たながん予防開発研究基盤の構築	広田亨	がん研究所 実験病理部	500,000	委	国がん研究開発費
68	生体内ネットワークの理解による難治性がん克服に向けた挑戦	高橋暁子(分担)	がん研究所細胞老化研究部	17,846,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
69	動原体超分子複合体の構造ダイナミクス	広田亨(分担)	がん研究所 実験病理部	12,800,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
70	動原体超分子複合体の構造ダイナミクス	大学保一(分担)	がん研究所	9,882,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
71	ゲノム複製におけるDNAポリメラーゼ間の協調的機能	大学保一	がん研究所	8,500,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
72	内在性二本鎖RNA産生機構の解明およびがん免疫療法への応用	北嶋俊輔	がん研究所	7,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
73	シングルセル・マルチオミックス解析による線維化シグナルネットワークの全貌解明	石本崇胤	がん研究所	7,510,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
74	細胞内サイバネティック・アバターの遠隔制御によって見守られる社会の実現	高橋暁子(分担)	がん研究所細胞老化研究部	59,500,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
75	レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点	高橋暁子(分担)	がん研究所細胞老化研究部	6,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
76	透過性細胞を用いたクロマチンの蛍光標識	立和名博昭(分担)	がん研究所がん生物部	2,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
77	非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的対策に関する研究	高橋俊二(分担)	有明病院 総合腫瘍科	300,000	補	厚労科研補助金

78	がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究	松本禎久(分担)	有明病院 緩和治療科	500,000	補	厚労科研補助金
79	細胞外分泌小胞中変異タンパク質を用いた膵がん早期診断法開発	植田幸嗣	研究本部 CPMセンターがんオーダーメイド医療開発PJプロテオミクス解析G	6,560,000	補	車両財団
80	AIを用いた病理組織・細胞画像による腫瘍の予後・遺伝子変化・治療感受性の予測法の開発	高松学	がん研究所病理部	10,000,000	補	車両財団
81	微小核による核酸認識経路の活性化機構解明とがん免疫療法への応用	北嶋俊輔	がん研究所細胞生物部	9,640,000	補	車両財団
82	生命科学連携推進協議会	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	40,000	補	文科省科研費
83	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	29,560,000	補	文科省科研費
84	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	6,600,000	補	文科省科研費
85	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)旦慎吾	がん化学療法センター 分子薬理部	10,900,000	補	文科省科研費
86	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)八尾良司	がん研究所 細胞生物部	25,700,000	補	文科省科研費
87	先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)高松学	がん研究所 病理部	1,050,000	補	文科省科研費
88	SAF-A/RNA複合体が作り出す転写制御の場の解明	野澤竜介	がん研究所 実験病理部	2,600,000	補	文科省科研費
89	大腸がんの転移・再発における細胞多様性の役割	八尾良司	がん研究所 細胞生物部	4,500,000	補	文科省科研費
90	網羅的変異タンパク質定量解析に基づく再発大腸癌の診断、治療法開発	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	3,000,000	補	文科省科研費
91	クロマチン3次元構造調節因子 CTCFの子宮体がんにおける下流因子の解明	森誠一	がんプレジジョン医療研究センター	3,900,000	補	文科省科研費

92	日本人乳癌における生物学的特性および免疫微小環境の超長期変化の解明	大迫智	がん研究所 病理部	900,000	補	文科省科研費
93	世界的希少疾患であるリンパ腫様胃症/NK細胞腸症の実態把握と原因遺伝子の探索	井上典仁	がん研究所 病理部	1,000,000	補	文科省科研費
94	HPV非関連型子宮頸部腺癌の浸潤性予測マーカー探索:EMT関連遺伝子に着目して	外岡暁子	がん研究所 病理部	600,000	補	文科省科研費
95	疾患単位確立を目指したRhoGAP胃癌の病理・ゲノム・臨床統合的解析	河内洋	がん研究所 病理部	300,000	補	文科省科研費
96	芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍:多様性から稀少腫瘍の病態を紐解く	坂本佳奈	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
97	肺線維症から肺腺癌の発生、特に肺胞細気管支化の機序と役割	松原修	がん研究所 病理部	300,000	補	文科省科研費
98	胃がんの初期薬剤抵抗性を司るがん細胞の可塑性および安定維持機構の解明	馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	1,000,000	補	文科省科研費
99	膀胱癌の組織形態とゲノムに基づく腫瘍内不均一性の可視化と革新的な予後予測法の開発	高松学	がん研究所 病理部	900,000	補	文科省科研費
100	デジタル病理画像深層学習によるびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の予後予測モデル構築	津山直子	がん研究所 病理部	400,000	補	文科省科研費
101	老化細胞におけるDNA/RNAハイブリッドを介したがん促進機構の解明	菅原祥	がん研究所 細胞老化研究部	900,000	補	文科省科研費
102	口腔がん幹細胞に対する新規分子標的探索とその応用による口腔がん治療戦略基盤の確立	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	300,000	補	文科省科研費
103	臨床がんの遺伝子情報維持に必要な物理化学的因子の解明とがん個別化医療への応用	(分担)片山量平	がん化学療法センター 基礎研究部	300,000	補	文科省科研費
104	大腸癌治療薬の基礎解析データからの血中循環バイオマーカー同定と生物学的意義の解析	(分担)馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	200,000	補	文科省科研費
105	CCT2複合ヘテロ変異による網膜変性モデルマウスの病態と網羅的タンパク質定量解析	(分担)峯岸ゆり子	CPMセンター プロテオミクス解析グループ	100,000	補	文科省科研費

106	遺伝性胃癌における初期病変に着眼した病理組織学的特徴とゲノム異常の解明	中野薫	有明病院 病理部	800,000	補	文科省科研費
107	蛍光多重免疫組織化学染色を用いた非小細胞肺がんの腫瘍微小免疫環境の解析	水柿秀紀	有明病院 がん免疫治療開発部	1,000,000	補	文科省科研費
108	CDK4/6阻害剤による抗腫瘍免疫応答活性化の解析と新規多剤併用免疫療法への応用	小林隆之	有明病院 乳腺内科	1,000,000	補	文科省科研費
109	術者のコツと経験則を拡張現実を用いて共有するシステムの開発	矢野智之	有明病院 形成外科	700,000	補	文科省科研費
110	狭帯域光併用エンドサイトスコピーによる胃癌の診断法と診断性能の検討	堀内裕介	有明病院 上部消化管内科	1,200,000	補	文科省科研費
111	分子疫学研究による胆のうがんリスク要因の解明	(分担)笹平直樹	有明病院 消化器内科	50,000	補	文科省科研費
112	照射技術に応じた適切な放射線治療法の開発とその普及	(分担)吉岡靖生	有明病院 放射線治療部	80,000	補	文科省科研費
113	革新的治療法開発を目指した食道胃接合部腺癌の網羅的ゲノム解析	(分担)今村裕	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
114	オンライン遺伝診療:家系単位での遺伝医療を実現する遠隔診療ネットワークの構築	(分担)植木有紗	有明病院 臨床遺伝医療部	150,000	補	文科省科研費
115	ヒストン化学修飾とヒストンバリエーションによる協調した転写制御機構の解明	立和名博昭	がん研究所 がん生物部	3,500,000	補	文科省科研費
116	セントロメア微小環境の形成における非ドメイン型RNAの機能	野澤竜介	がん研究所 実験病理部	3,600,000	補	文科省科研費
117	がん細胞における可塑的染色体動態制御の病理学的意義	広田亨	がん研究所 実験病理部	27,600,000	補	文科省科研費
118	ホルモン依存性がんの再発におけるノンコーディングRNAの役割解明	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	7,700,000	補	文科省科研費
119	ポドプラニン依存的な血小板凝集による腫瘍の増殖・転移の促進機構の解析	藤田直也	がん化学療法センター	3,900,000	補	文科省科研費

120	染色体構造異常によるがんの悪性化機構の解析	高橋暁子	がん研究所 細胞老化研究部	4,500,000	補	文科省科研費
121	腫瘍内細菌が抗がん薬物効果におよぼす影響の解明～転移性がんの細菌標的治療に向けて	稲村健太郎	がん研究所 病理部	5,100,000	補	文科省科研費
122	ポリADPリボシル化酵素タンキラーゼを標的としたがん精密医療の分子基盤	清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	4,200,000	補	文科省科研費
123	合成致死性を司る代謝リプログラミング機構の解明と治療への応用	富田章弘	がん化学療法センター ゲノム研究部	3,900,000	補	文科省科研費
124	DNA複製・RNA転写コンフリクトのゲノム科学的解析	大学保一	がん研究所 がんゲノム動態プロジェクト	5,300,000	補	文科省科研費
125	BCL2関連B細胞リンパ腫における多様性の解明	竹内賢吾	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	5,500,000	補	文科省科研費
126	KRAS-LKB1変異型肺がんに特徴的な免疫抑制性のがん微小環境形成機構の解明	北嶋俊輔	がん研究所 細胞生物部	4,600,000	補	文科省科研費
127	患者由来検体の性状解析に基づく骨肉腫特異的な脆弱性の基盤解析	高木聡	がん化学療法センター 基礎研究部	5,400,000	補	文科省科研費
128	エピゲノム異常がもたらすがん細胞の多様性及び治療抵抗性獲得機構の解析	宮田憲一	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	5,400,000	補	文科省科研費
129	腫瘍間質に依存したシヤストレス抵抗性の獲得と血行性がん転移機構の解明	石本崇胤	がん研究所 発がん研究部	2,803,314	補	文科省科研費
130	JNKシグナル制御による免疫抑制的腫瘍微小環境の克服	千場隆	がん研究所 発がん研究部	3,615,000	補	文科省科研費
131	転移性乳癌で生じる多様な変異体タンパク質の機能異常性の網羅的解析と病的意義の解明	中太智義	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
132	肺がんにおけるエピジェネティックスを介した薬剤耐性変異獲得メカニズムの解明	瀬戸陽介	がん化学療法センター 基礎研究部	1,100,000	補	文科省科研費
133	老化細胞から分泌されるエクソソームのがん病態における役割の解明	田中陽子	がん研究所 細胞老化研究部	1,000,000	補	文科省科研費

134	がん関連シグナルを標的とした肉腫に対する新規複合免疫療法の開発	礪山翔	がん化学療法センター 分子薬理部	1,300,000	補	文科省科研費
135	転移学習を用いた唾液腺癌の組織学的悪性度の再分類の試み	佐藤由紀子	がん研究所 病理部	1,200,000	補	文科省科研費
136	定量質量分析を用いた標的タンパク質分解とがん特異抗原提示増強効果についての検討	峯岸ゆり子	GPMセンター プロテオミクス解析グループ	1,100,000	補	文科省科研費
137	包括的組織のグライコプロテオミクスによるがん特異的糖鎖の作動原理解明	芳賀淑美	がんプレジジョン医療研究センター	1,400,000	補	文科省科研費
138	多文脈化エピトープとT細胞免疫反応評価を利用した細胞外小胞の機能的差分	芝清隆	がん研究所	2,000,000	補	文科省科研費
139	甲状腺乳頭癌高リスク群の腫瘍微小環境を解明する	千葉知宏	がん研究所 病理部	1,700,000	補	文科省科研費
140	転写調節型CDK阻害剤が著効を示すがんの層別化を可能とする抗がん分子機序の解明	大橋愛美	がん化学療法センター 分子薬理部	1,400,000	補	文科省科研費
141	Kras変異に伴う消化管腫瘍の細胞多様性と免疫回避機構の解明	坂原瑞穂	がん研究所 細胞生物部	1,200,000	補	文科省科研費
142	マウスにおける染色体異常誘導系を用いた大腸がん進展に関わるゲノム構造異常の解析	高野洋志	がん研究所 細胞生物部	800,000	補	文科省科研費
143	LKB1/KEAP1変異に伴う腫瘍免疫制御を介したソラシブ耐性機序の解明	佐々木信成	がん研究所 細胞生物部	1,400,000	補	文科省科研費
144	がん細胞の代謝可塑性制御機構の解明と制御破綻に基づく新規治療法の考案	岡本有加	がん化学療法センター ゲノム研究部	1,300,000	補	文科省科研費
145	遺伝性腫瘍症候群診断のための非コード領域バリエーションの病原性分類アルゴリズムの開発	金安智子	がん研究所 がんゲノム研究部	1,300,000	補	文科省科研費
146	光学的リーザリティを用いた腫瘍間質リモデリング効果の生体イメージング	福田正裕	がん研究所 発がん研究部	1,100,000	補	文科省科研費
147	遠隔臓器コミュニケーションによるスキルス胃癌線維化メカニズムの解明	安田忠仁	がん研究所 発がん研究部	1,100,000	補	文科省科研費

148	単一核マルチオーム解析を用いた胃がん間質不均一性の解明	内原智幸	がん研究所 発がん研究部	1,100,000	補	文科省科研費
149	子宮体癌とその前癌病変である内膜増殖症の空間的エピゲノム解析	後藤理	がん研究所 がんゲノム研究部	1,100,000	補	文科省科研費
150	ヒト汗腺モデルを利用した汗腺老化メカニズムの解明と有効成分の探査	早川智久	NEXT-Gankenプログラム がん細胞社会成因説明PJ	1,100,000	補	文科省科研費
151	動くタンパク質構造辞典構築を介した疾患関連分子の新規標的部位探索	片山量平	がん化学療法センター 基礎研究部	5,000,000	補	文科省科研費
152	がん微小環境におけるポリアミン代謝機能解明への挑戦	高橋暁子	がん研究所 細胞老化研究部	5,000,000	補	文科省科研費
153	クロマチンの運動性から捉える転写制御のゆらぎとがん細胞の悪性化	野澤竜介	がん研究所 実験病理部	2,100,000	補	文科省科研費
154	再発乳がんにおける群発的ノンコーディングRNAの転写が主導する遺伝子発現調節機構	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	1,500,000	補	文科省科研費
155	がん免疫療法への応用を目指したcGAS依存的微小核ダイナミクスの解明	北嶋俊輔	がん研究所 細胞生物部	2,500,000	補	文科省科研費
156	がん組織における分化転換機構の解明	八尾良司	がん研究所 細胞生物部	2,000,000	補	文科省科研費
157	グアニン四重鎖による翻訳制御に潜むがん細胞選択的な脆弱性	清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	2,500,000	補	文科省科研費
158	細菌と遺伝子発現の可視化による腫瘍内細菌が転移におよぼす影響の解明	稲村健太郎	がん研究所 病理部	3,000,000	補	文科省科研費
159	リピート領域も包括したオミクス解析法による新たな細胞の特徴と機能の解明	宮田憲一	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	3,000,000	補	文科省科研費
160	HP1によるAurora B複合体の動的構造解析とその空間制御機構の解明	迫洸佑	がん研究所 実験病理部	1,100,000	補	文科省科研費
161	がんの進行・悪性化における可塑的染色体動態制御の意義	趙民知	がん研究所 実験病理部	1,100,000	補	文科省科研費

162	乳癌細胞の骨におけるDormancyの分子基盤解析と晩期再発への新規治療戦略開発	松永有紀	NEXT-Gankenプログラム がん細胞社会成 因説明PJ	1,800,000	補	文科省科研費
163	オルガノイドとシングルセル解析を用いた、乳癌細胞が正常細胞にもたらす変化の解明	尾辻和尊	NEXT-Gankenプログラム がん細胞多様性 説明PJ	600,000	補	文科省科研費
164	患者由来オルガノイドとハイドロゲルを用いた乳がん幹細胞生存シグナル経路の解明	鈴木淳	NEXT-Gankenプログラム がん細胞多様性 説明PJ	1,200,000	補	文科省科研費
165	動的タンパク質集合体が駆動する染色体構築	高橋元子	がん研究所 実験病 理部	1,300,000	補	文科省科研費
166	乳癌における微小環境内リンパ管の特異性と、癌オルガノイドとの相互作用の解明	家里明日美	NEXT-Gankenプログラム がん細胞多様性 説明PJ	1,000,000	補	文科省科研費
167	老化CAFsにおける翻訳制御を介したSASP誘導およびがん促進機構の解明	菅原祥	がん研究所 細胞老 化研究部	1,100,000	補	文科省科研費
168	がん関連線維芽細胞を標的とした免疫微小環境リモデリング機序の解明	秋山貴彦	がん研究所 発がん 研究部	2,000,000	補	文科省科研費
169	Tumor-initiating cellを基軸とした線維芽細胞が制御する癌がん進展機構の解明	山崎昌哉	がん研究所 発がん 研究部	1,190,143	補	文科省科研費
170	メタボリックシンドロームに関連した細胞老化が引き起こす癌転移機序の解明	付凌峰	がん研究所 発がん 研究部	1,318,575	補	文科省科研費
171	乳癌オルガノイドとペリサイトの相互作用解析による、新規治療標的の探索	家里明日美	NEXT-Gankenプログラム がん細胞多様性 説明PJ	1,100,000	補	文科省科研費
172	1細胞遺伝子発現解析による膵臓前駆細胞の同定と癌がん発生母地の解明	山崎昌哉	がん研究所 発がん 研究部	146,748	補	文科省科研費
173	細胞外小胞の1粒子解析による小胞表面抗原の網羅的解析と癌の病態解明	柴田智華子	がん研究所 がんエピ ゲノムプロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
174	がんの悪性形質獲得過程における染色体動態の可塑的制御とその意義	趙民知	がん研究所 実験病 理部	1,200,000	補	文科省科研費
175	脳腫瘍と脳内微小環境のコミュニケーションを解明するコネクティクス解析基盤の創出	(分担)丸山玲緒	がん研究所 がんエピ ゲノムプロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費

176	RNAと染色体骨格タンパク質群による液-液相分離現象が促すM期染色体制御	(分担)広田亨	がん研究所 実験病理部	500,000	補	文科省科研費
177	膵癌における反復配列RNAの機能解析と治療選択最適化への応用	(分担)丸山玲緒	がん研究所 がんエピゲノムプロジェクト	50,000	補	文科省科研費
178	腸内細菌の細胞外小胞による進行肝硬変の再生不全の機序解明と予防・治療法開発	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	700,000	補	文科省科研費
179	虹彩萎縮に伴う前房水環境変化の病態解明と角膜移植の予後改善にむけた基盤創出	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	700,000	補	文科省科研費
180	ジェロサイエンスに基づく新規矯正歯科治療の基盤構築-Senolyticsの口腔科学への展開	(分担)高橋暁子	がん研究所 細胞老化研究部	200,000	補	文科省科研費
181	スクシニルCoAによる心筋代謝機構の解明	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	300,000	補	文科省科研費
182	西洋型食生活に関連する腸内フローラによる発癌リスクとそのメカニズム解明	(分担)石本崇胤	がん研究所 発がん研究部	120,691	補	文科省科研費
183	がんーストローマ代謝物クロストークによる膵癌進展メカニズムの解明	(分担)石本崇胤	がん研究所 発がん研究部	265,035	補	文科省科研費
184	がんーストローマ代謝物クロストークによる膵癌進展メカニズムの解明	(分担)安田忠仁	がん研究所 発がん研究部	100,000	補	文科省科研費
185	内耳蝸牛基底部を自発的に増殖再生させるメカニズムの解明	(分担)土橋映仁	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	70,000	補	文科省科研費
186	患者由来オルガノイド再構成モデルによる播種細胞からの顕在性転移巣の発生機序の解明	(分担)八尾良司	がん研究所 細胞生物部	500,000	補	文科省科研費
187	免疫ペプチドーム修飾による免疫チェックポイント阻害剤の適応範囲拡大	(分担)芝清隆	がん研究所	50,000	補	文科省科研費
188	メチル化ctDNAによる大腸がん根治術後再発早期診断の実装的モニタリング法の開発	(分担)LOW SIEW KEE	CPMセンター リキッドバイオプシーシステム開発グループ	200,000	補	文科省科研費
189	Oct4陽性肺癌幹細胞マウスモデルの樹立と癌幹細胞を根絶する革新的治療法の開発	(分担)片山量平	がん化学療法センター 基礎研究部	150,000	補	文科省科研費

190	スキルス胃がん間質ダイバーシティの解明と治療標的の創出	(分担)安田忠仁	がん研究所 発がん研究部	126,953	補	文科省科研費
191	スキルス胃がん間質ダイバーシティの解明と治療標的の創出	(分担)内原智幸	がん研究所 発がん研究部	1,518,554	補	文科省科研費
192	トリプルネガティブ乳癌における多様性の分子機序解明と新規治療への展開	山下奈真	有明病院 乳腺外科	500,000	補	文科省科研費
193	子宮癌に対するマッピング生検ガイド下穿刺対応強度変調組織内照射テンプレートの開発	久能木裕明	有明病院 放射線治療部	900,000	補	文科省科研費
194	T細胞解析を起点としたリンパ浮腫の免疫病態の解明・リンパ管吻合は抗癌免疫となるか	今井洋文	有明病院 形成外科	797,302	補	文科省科研費
195	未知の機能的リンパ管解剖の探求からリンパ浮腫外科治療の効果を向上させる研究	関征央	有明病院 形成外科	75,809	補	文科省科研費
196	WHO分類における新規脂肪性腫瘍の検証とテロメア維持機構を含む全体像の解明	山下享子	有明病院 病理部	1,200,000	補	文科省科研費
197	転移性乳癌患者における全身免疫病態の網羅的集団動態解析	山下万貴子	有明病院 がん免疫治療開発部	800,000	補	文科省科研費
198	進行下部直腸癌に対する待機療法の前向きコホートを用いた縦断的循環腫瘍DNA解析	秋吉高志	有明病院 大腸外科	900,000	補	文科省科研費
199	経口抗がん薬のアドヒアランスをリアルタイムに評価しアドヒアランス向上を目指す研究	川上和宜	有明病院 薬剤部	800,000	補	文科省科研費
200	周術期乳癌患者における抗腫瘍B細胞免疫応答の解明	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	1,900,000	補	文科省科研費
201	子宮頸がん患者の放射線治療による腔関連有害事象に対する患者支援プログラムの開発	後藤志保	有明病院 看護部	500,000	補	文科省科研費
202	抗原特異的CD8+T細胞を活性化させる免疫重粒子線治療の開発	栗山健吾	有明病院 大腸外科	1,800,000	補	文科省科研費
203	タイトジャンクションの構造破綻を起点とした腫瘍とその微小環境特性の解明	中山徹馬	有明病院 消化器化学療法科	1,200,000	補	文科省科研費

204	オルガノイド技術と新規シンジェニックマウスモデルを用いた胆道癌・膵癌の治療開発	春日章良	有明病院 肝胆膵内科	1,600,000	補	文科省科研費
205	EGFR陽性肺癌における小細胞癌転化の分子プロファイル解析と転化機構の解明	内堀健	有明病院 呼吸器内科	1,300,000	補	文科省科研費
206	『皮膚－再生軟骨複合組織』による体表欠損治療法の検討	鍵本慎太郎	有明病院 形成外科	400,000	補	文科省科研費
207	言語化困難な切除適応と治療結果のAI解析に基づく進行大腸癌肝転移の切除適応標準化	小林光助	有明病院 肝胆膵外科	1,800,000	補	文科省科研費
208	非ウイルス性非アルコール性肝癌の発癌および再発に関連する腫瘍内細菌の同定	重松康之	有明病院 病理部	1,700,000	補	文科省科研費
209	臓器横断的腫瘍内細菌叢の解析によるがん免疫応答への関わりの解明	福岡聖大	有明病院 消化器化学療法科	1,200,000	補	文科省科研費
210	BH3 profilingを用いた、頭頸部扁平上皮癌に対する免疫療法の治療戦略探索研究	在原洋平	有明病院 先端医療開発科	85,515	補	文科省科研費
211	最適ながん免疫療法の実現に向けた根治的放射線治療施行頭頸部癌患者の免疫応答解析	豊島雄二郎	有明病院 先端医療開発科	1,300,000	補	文科省科研費
212	サルコペニア・肥満が膵癌患者予後を不良にする癌微小環境における分子機序の解明	武田剛志	有明病院 肝胆膵内科	1,300,000	補	文科省科研費
213	炎症性大腸癌におけるDNA 損傷と免疫応答に着目した新たな治療の開発	小澤直也	有明病院 大腸外科	1,800,000	補	文科省科研費
214	Opioid-free anesthesiaによる重症睡眠時無呼吸症候群への治療効果の解明	川上定俊	有明病院 麻酔科	1,474,773	補	文科省科研費
215	機械学習を用いた直腸癌術後再発の予測モデルの構築と臨床応用	坂本貴志	有明病院 大腸外科	1,000,000	補	文科省科研費
216	次世代遺伝子発現解析法に立脚したシーケンスレスながん分子サブタイプ規定法の開発	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	500,000	補	文科省科研費
217	次世代トランスクリプトーム解析を用いた肺癌個別化医療開発	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	320,000	補	文科省科研費

218	食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	(分担)今村裕	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
219	食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	(分担)渡邊雅之	有明病院 消化器外科	300,000	補	文科省科研費
220	胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	(分担)今村裕	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
221	胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	(分担)渡邊雅之	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
222	組織血流動態と組織硬さを定量指標化する形成外科手術支援システム	(分担)矢野智之	有明病院 形成外科	100,000	補	文科省科研費
223	プルスルー法は直腸癌のストーマレス肛門温存手術を実現可能にするか？	(分担)福長洋介	有明病院 消化器外科	50,000	補	文科省科研費
224	がん診療についての統合的臨床データベースの社会実装	鈴木一洋	有明病院 医療情報部	37,996,982	補	SIP_戦略的イノベーション創造プログラム
225	医療機関・ベンダー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現	小口正彦(分担)	有明病院 医療情報部	6,650,000	補	SIP_戦略的イノベーション創造プログラム

計 225 件

注1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Abe, A., Nomura, H., Fusegi, A., et al.	婦人科	Risk-reducing decisions regarding germline BRCA pathogenic variant: Focusing on the timing of genetic testing and RRSO.	J .Med. Genet. 2024 Mar; 61: 392-398	Original Article
2	Amano, T., Akiyoshi, T., Furuta, M., et al.	大腸外科	Geriatric nutritional risk index after neoadjuvant chemoradiotherapy and survival in older patients with advanced rectal cancer.	Int. J. Colorectal Dis. 2023 May; 38: 119	Original Article
3	Amino, Y., Low, S. K., Ninomiya, H., et al.	呼吸器内科	Clinical characteristics of patients with KRAS mutation detected by liquid biopsy.	Thorac. Cancer. 2023 Nov; 14: 3317-3322	Original Article
4	Amori, G., Sugawara, E., Inamura, K.	病理部/病院病理	Leveraging transcriptomics data to refine immunotherapy response prediction in NSCLC: STK11 deficiency and beyond.	J. Thorac. Oncol. 2023 Nov (オンライン); 18: e134-e135	Others
5	Aoki, Y., Inoue, Y., Sasahira, N., et al.	婦人科/トータルケアセンター	Primary ovarian insufficiency associated with lenvatinib therapy in a patient with hepatocellular carcinoma: A case report.	Oncol. Lett. 2023 Aug; 26: 450	Case Report
6	Chino, A., Ide, D., Abe, S., et al.	下部消化管内科	Performance evaluation of a computer-aided polyp detection system with artificial intelligence for colonoscopy.	Dig. Endosc. 2024 Feb; 36: 185	Original Article
7	Fujii, T., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., et al.	形成外科	Cannulation indocyanine green method for strategic management of postoperative arterial thrombosis after free jejunal flap transfer.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2023.Dec(オンライン); 11: e5463	Case Report
8	Fujiwara, R., Yuasa, T., Kobayashi, K., et al.	泌尿器科	Pembrolizumab plus lenvatinib for radically unresectable or metastatic renal cell carcinoma in the Japanese population.	Expert Rev. Anticancer Ther. 2023 May; 23: 461-469	Review
9	Fujiwara, Y., Sato, Y., Hayashi, N., et al.	総合腫瘍科	The Geriatric Nutritional Risk Index as a prognostic factor in older adult patients with locally advanced head and neck cancer receiving definitive chemoradiotherapy with tri-weekly cisplatin.	J. Geriatr. Oncol. 2023 May; 14: 101523	Original Article
10	Fukada, I., Mori, S., Hayashi, N., et al.	ゲノム診療部/乳腺内科	Prognostic impact of cancer genomic profile testing for advanced or metastatic solid tumors in clinical practice.	Cancer Sci. 2023 Dec; 114: 4632-4642	Original Article
11	Fukuda, K., Osumi, H., Yoshino, K., et al.	消化器化学療法科	Single-organ pulmonary metastasis is a favorable prognostic factor in metastatic colorectal cancer patients treated with FOLFIRI and vascular endothelial growth factor inhibitors.	BMC Cancer. 2023 Jul; 23: 634	Original Article

12	Fukuda, N., Oki, R., Suto, H., et al.	総合腫瘍科	Comparison of paclitaxel plus carboplatin versus observation in patients with recurrent or metastatic adenoid cystic carcinoma of the head and neck.	Oncology. 2023 Jul; 101: 502-511	Original Article
13	Fukuda, N., Tanizawa, Y., Nakamura, K., et al.	総合腫瘍科	Real-world clinical profile, treatment patterns and patient-reported outcomes for thyroid cancer in Japan.	Future Oncol. 2023 May; 19: 1125-1137	Original Article
14	Gotoda, T., Ishikawa, H., Kusano, C., et al.	上部消化管内科	Randomized controlled trial comparing the costs of gastric cancer screening systems between serological risk-based upper gastrointestinal endoscopy and the existing barium photofluorography: gastric cancer screening labeled by serum examination in place of aged gastric cancer organized screening systems (GALAPAGOS study).	Gastric Cancer. 2024 Jan; 27: 36-48	Others
15	Hamada, K., Komai, Y., Fujiwara, R., et al.	泌尿器科	Doppler ultrasonography as a screening test for the detection of asymptomatic renal artery pseudoaneurysms following partial nephrectomy: A 15-year single-institution experience.	Int. J. Urol. 2023 May; 30: 492-494	Original Article
16	Hashimoto, K., Ariyasu, R., Ichinose, J., et al.	呼吸器外科	Advances in the treatment of postoperative recurrence of non-small cell lung cancer and their impact on survival in Asian patients.	J. Thorac. Cardiovasc. Surg. 2023 Apr; 165: 1565-1574	Original Article
17	Hashimoto, K., Kawakami, K., Yokokawa, T., et al.	薬剤部	Serum creatinine elevation as a risk factor for niraparib-induced hematologic toxicity.	Anticancer Res. 2023 Oct; 43: 4533-4541	Others
18	Hashimoto, K., Murakami, Y., Omura, K., et al.	呼吸器外科	Prediction of tumor PD-L1 expression in resectable non-small cell lung cancer by machine learning models based on clinical and radiological features: Performance comparison with preoperative biopsy.	Clin. Lung Cancer. 2024 Jan (オンライン); 25: e26	Others
19	Hayami, M., Ohashi, M., Kurihara, N., et al.	胃外科	Adequate gross resection margin length ensuring pathologically complete resection in gastrectomy for gastric cancer: A systematic review and meta-analysis.	Ann. Gastroenterol. Surg. 2024 Mar; 8: 202-213	Review
20	Hiyoshi, Y., Daitoku, N., Mukai, T., et al.	大腸外科	Risk factors for lymph node metastasis of rectal neuroendocrine tumor and its prognostic impact: A single-center retrospective analysis of 195 cases with radical resection.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Jul; 30: 3944-3935	Original Article
21	Hori, S., Imamura, Y., Kanie, Y., et al.	食道外科	Early postoperative hyperglycemia as a predictor of postoperative infectious complications and overall survival in non-diabetic patients with esophageal cancer.	J. Gastrointest. Surg. 2023 Dec; 27: 2743-2751	Original Article
22	Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Fujisaki, J.	上部消化管内科	Endoscopic features of undifferentiated-type early gastric cancer in patients with Helicobacter pylori-uninfected or -eradicated stomachs: A comprehensive review.	Gut Liver. 2024 Mar; 18: 209-217	Review
23	Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Fujisaki, J.	上部消化管内科	Application of artificial intelligence for diagnosis of early gastric cancer based on magnifying endoscopy with narrow-band imaging.	Clin. Endosc. 2024 Jan; 57: 11-17	Review

24	Ichinose, J., Hashimoto, K., Matsuura, Y., et al.	呼吸器外科	Risk factors for bronchopleural fistula after lobectomy for lung cancer.	J. Thorac. Dis. 2023 Jun; 15: 3330-3338	Original Article
25	Ichinose, J., Hashimoto, K., Matsuura, Y., et al.	呼吸器外科	Initial perioperative outcomes of robot-assisted thoracoscopic lobectomy using a confronting setting.	Surg. Today. 2023 Sep; 53: 1073-1080	Original Article
26	Ikarashi, D., Kitano, S., Tsuyukubo, T., et al.	先端医療開発科がん免疫治療開発部/臨床部	Pathological complete response to neoadjuvant chemotherapy may improve antitumor immune response via reduction of regulatory T cells in muscle-invasive bladder cancer.	Sci. Rep. 2024 Jan(オンライン); 14: 1442	Original Article
27	Ikenoyama, Y., Goda, K., Fujisaki, J., et al.	上部消化管内科	A simpler diagnostic algorithm of the Japan Esophageal Society classification for Barrett's esophagus-related superficial neoplasia.	Esophagus. 2024 Jan; 21: 22-30	Original Article
28	Inamura, K.	病理部/病院病理	Screening for prostate cancer.	N. Engl. J. Med. 2023 Jul; 389: 93	Others
29	Inamura, K.	病理部/病院病理	Leveraging next-generation sequencing data to refine immunotherapy response Prediction in NSCLC: Programmed death-ligand 1 copy number, tumor mutation burden, and beyond.	J. Thorac. Oncol. 2023 Sep (オンライン); 18: e87-e88	Letter
30	Inamura, K.	病理部/病院病理	Exploiting tumor Immune microenvironment to predict response to immunotherapy plus chemotherapy in NSCLC.	J. Thorac. Oncol. 2023 Oct (オンライン); 18: e109-e110	Letter
31	Inamura, K., Shigematsu, Y.	病理部/病院病理	Is machine learning-based assessment of tumor-infiltrating lymphocytes on standard histologic images associated with outcomes of immunotherapy in patients with NSCLC?	J. Thorac. Dis. 2023 May; 15: 2882-2884	Others
32	Ishioka, M., Osawa, H., Hirasawa, T., et al.	上部消化管内科	Performance of an artificial intelligence-based diagnostic support tool for early gastric cancers: A retrospective study.	Dig. Endosc. 2023 May; 35: 483-491	Original Article
33	Iwase, T., Saji, S., Iijima, K., et al.	乳腺外科	Postoperative adjuvant anastrozole for 10 or 5 years in patients with hormone receptor-positive breast cancer: AERAS, a randomized multicenter open-label phase III trial.	J. Clin. Oncol. 2023 Jun; 41: 3329-3338	Others
34	Izumi, A., Yoshio, T., Sasaki, T., et al.	上部消化管内科	Efficacy and safety of self-expandable metallic stent placement for malignant esophageal fistula.	J. Clin. Med. 2023 Sep; 12: 5859	Original Article
35	Kamima, T., Iino, M., Sakai, R., et al.	放射線治療チーム	Evaluation of the four-dimensional motion of lung tumors during end-exhalation breath-hold conditions using volumetric cine computed tomography images.	Radiother. Oncol. 2023 May; 182: 109573	Original Article

36	Kanao, H., Fusegi, A., Omi, M., et al.	婦人科	Transvaginal cervical tumor-concealing no-look no-touch technique in minimally invasive radical hysterectomy for early-stage cervical cancer: A novel operation technique.	J. Gynecol. Oncol. 2023 May (オンライン); 34: e27	Others
37	Kanao, H., Kanno, M., Fusegi, A., et al.	婦人科	Transperineal endoscopic approach with GelPOINT V-path in laparoscopic pelvic exenteration for postirradiated recurrent cervical cancer.	Gynecol. Oncol. Rep. 2023 Oct ; 50: 101291	Case Report
38	Kanie, Y., Okamura, A., Tomizuka, K., et al.	食道外科	Quantitative evaluation of periodontitis for predicting the occurrence of postoperative pneumonia after oncologic esophagectomy.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Dec; 30: 8216-8222	Original Article
39	Kanno, M., Yunokawa, M., Fusegi, A., et al.	婦人科	Cerebral infarction caused by Trousseau syndrome associated with cervical cancer.	J. Gynecol. Oncol. 2024 Jan (オンライン); 35: e41	Original Article
40	Kanno, M., Yunokawa, M., Kurihara, N., et al.	婦人科	Efficacy of intra-abdominal cytoreductive surgery in advanced endometrial cancer with distant metastasis.	J. Gynecol. Oncol. 2023 Nov (オンライン); 34: e77	Original Article
41	Karakawa, R., Konishi, T., Yoshimatsu, H., et al.	形成外科	Association between body mass index and outcomes after autologous breast reconstruction: A nationwide inpatient database study in Japan.	Breast Cancer Res. Treat. 2024 Feb; 204: 69-78	Original Article
42	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Fuse, Y., et al.	形成外科	Comparison of outcomes following pedicled and free flap transfers for the defect after shoulder sarcoma resection.	J. Plast. Reconstr. Aesthet. Surg. 2023 Aug; 83: 373-379	Original Article
43	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Fuse, Y., et al.	形成外科	Multiple flap transfer for multiple local recurrence of soft tissue sarcoma.	Medicina (Kaunas, Lithuania). 2023 Aug; 59: 1489	Original Article
44	Kato, T., Ono, Y., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	Treatment strategy of pancreas-sparing distal duodenectomy for distal duodenal malignancies with adjustable dissection levels according to disease progression (with video).	World J. Surg. 2023 Jul; 47: 1752-1761	Original Article
45	Kawano, F., Ito, H., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	Role of intraoperative assessment of proximal bile duct margin status and additional resection of perihilar cholangiocarcinoma: Can local clearance trump tumor biology? A retrospective cohort study.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Jun; 30: 3348-3359	Original Article
46	Kazami, Y., Oba, A., Ono, Y., et al.	肝胆膵外科	Intraoperative paraaortic lymph node sampling during resection for pancreatic cancer: Evolving role in the modern chemotherapy era.	HPB (Oxford). 2023 Oct; 25: 1169-1178	Original Article
47	Kikuchi, M., Gomi, N., Ueki, A., et al.	画像診断部	Effectiveness and tasks of breast MRI surveillance for high-risk women with cancer susceptibility genes other than BRCA1/2: A single institution study.	Breast Cancer. 2023 Jul; 30: 577-583	Original Article

48	Kiritani, S., Oba, A., Inoue, Y., et al.	肝胆膵外科	Jejunum patch technique during robot-assisted central pancreatectomy: A lesson from open procedure experience.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Sep; 30: 5761–5762	Original Article
49	Kiritani, S., Ono, Y., Takamatsu, M., et al.	肝胆膵外科	Unique biology of pancreatic ductal adenocarcinoma accompanied by rapidly impaired diabetes: A favorable long-term survival after curative resection.	Ann. Surg. Oncol. 2024 Jan; 31: 514–524	Original Article
50	Kitano, Y., Inoue, Y., Takeda, T., et al.	肝胆膵外科	Clinical efficacy of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine plus S-1 for resectable pancreatic ductal adenocarcinoma compared with upfront surgery.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Aug; 30: 5093–5102	Original Article
51	Kitano, Y., Ono, Y., Kobayashi, K., et al.	肝胆膵外科	Neoadjuvant chemotherapy for borderline resectable colorectal cancer liver metastases: A single-institution retrospective study.	HPB (Oxford). 2024 Feb; 26: 282–290	Original Article
52	Kiyozumi, Y., Yamaguchi, T., Ichikawa, N., et al.	大腸外科	Endoscopic surgical skill qualification system: Propensity-score matched cohort analysis of accredited supervisors in laparoscopic rectal cancer surgery.	Br. J. Surg. 2023 Nov; 110: 1834–1839	Original Article
53	Kobayashi, K., Inoue, Y., Omiya, K., et al.	肝胆膵外科	Diagnosis and management of postpancreatectomy hemorrhage: A single-center experience of consecutive 1,096 pancreatoduodenectomies.	Pancreatology. 2023 Apr; 23: 235–244	Original Article
54	Kobayashi, K., Masuda, N., Mizuno, T., et al.	乳腺内科	Phase II trial of biweekly administration with eribulin after three cycles of induction therapy in hormone receptor-positive, HER2-negative metastatic breast cancer (JACCRO BC-03).	Breast Cancer Res. Treat. 2023 Oct; 201: 409–415	Others
55	Kobayashi, K., Ono, Y., Kitano, Y., et al.	肝胆膵外科	Prognostic impact of tumor markers (CEA and CA19-9) on patients with resectable colorectal liver metastases stratified by tumor number and size: Potentially valuable biologic markers for preoperative treatment.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Nov; 30: 7338–7347	Original Article
56	Kobayashi, K., Ono, Y., Sato, S., et al.	肝胆膵外科	Evaluation of local recurrence after pancreaticoduodenectomy for borderline resectable pancreatic head cancer with neoadjuvant chemotherapy: Can the resection level change after chemotherapy?	Surgery. 2023 May; 173: 1220–1228	Original Article
57	Koike, R., Yunokawa, M., Omatsu, K., et al.	婦人科	Retrospective study of the efficacy and safety of docetaxel/carboplatin combination therapy as postoperative adjuvant chemotherapy for nonsquamous cell carcinoma of the cervix.	Int. J. Clin. Oncol. 2023 Oct; 28: 1421–1430	Original Article
58	Koterazawa, Y., Ohashi, M., Hayami, M., et al.	胃外科	Oncological impact of unexpected horizontal tumor spread in gastric cancer that requires total gastrectomy.	Gastric Cancer. 2023 Sep; 26: 823–832	Original Article
59	Koterazawa, Y., Ohashi, M., Hayami, M., et al.	胃外科	Required esophageal resection length beyond the tumor boundary to ensure a negative proximal margin for gastric cancer with gross esophageal invasion or esophagogastric junction cancer.	Gastric Cancer. 2023 May; 26: 451–459	Original Article

60	Koyama, K., Inamura, K.	病院病理/病理部	Tumor-resident intracellular bacteria benefit metastasis.	Ann. Transl .Med. 2023 Sep; 11: 376	Letter
61	Kumagai, K., Nunobe, S., Hiki, N.,et al.	胃外科	Anatomical position of the pancreas as a risk factor for pancreatic fistula after laparoscopic gastrectomy for gastric cancer.	World J. Surg. 2023 Jun; 47: 1744-1751	Original Article
62	Kurita, T., Yunokawa, M., Tanaka, Y.,et al.	婦人科	Local treatment efficacy for single-area squamous cell carcinoma of the unknown primary site.	Curr. Oncol. 2023 Oct; 30: 9327-9334	Original Article
63	Kuriyama, K., Okamura, A., Kanie, Y.,et al.	食道外科	McKeown versus Ivor-Lewis esophagectomy for patients with a history of total pharyngolaryngectomy: A comparison study.	World J. Surg. 2023 Oct; 47: 2479-2487	Original Article
64	Maekawa, A., Oba, A., Inoue, Y.,et al.	肝胆膵外科	Technical strategy for pancreatic body cancers: A raison d'être of distal pancreatectomy with portal resection.	Ann. Surg. Oncol. 2024 Feb; 31: 1347-1357	Original Article
65	Makuuchi, R., Terashima, M., Terada, M.,et al.	胃外科	Randomized controlled phase III trial to investigate superiority of robot-assisted gastrectomy over laparoscopic gastrectomy for clinical stage T1-4aN0-3 gastric cancer patients (JCOG1907, MONA LISA study): A study protocol.	BMC Cancer. 2023 Oct; 23: 987	Original Article
66	Masuda, J., Sakai, H., Tsurutani, J.,et al.	乳腺内科	Efficacy, safety, and biomarker analysis of nivolumab in combination with abemaciclib plus endocrine therapy in patients with HR-positive HER2-negative metastatic breast cancer: a phase II study (WJOG11418B NEWFLAME trial).	J. Immunother. Cancer. 2023 Sep (オンライン); 11: e007126	Others
67	Matsui, R., Ida, S., Ri, M.,et al.	胃外科	Impact of preoperative prealbumin levels on long-term prognosis in patients with gastric cancer after gastrectomy: A retrospective cohort study.	Gastric Cancer. 2024 Mar; 27: 611-621	Original Article
68	Matsui, R., Inaki, N., Tsuji, T.,et al.	胃外科	Impact of sex-specific preoperative fat mass assessment on long-term prognosis after gastrectomy for gastric cancer.	Cancers (Basel). 2023 Apr(オンライン); 15: 2100	Original Article
69	Matsui, R., Inaki, N., Tsuji, T.,et al.	胃外科	Preoperative chronic inflammation is a risk factor for postoperative complications independent of body composition in gastric cancer patients undergoing radical gastrectomy.	Cancers(Basel). 2024 Feb(オンライン); 16: 833	Original Article
70	Matsui, R., Nunobe, S., Makuuchi, R.,et al.	胃外科	Relationship between antithrombotic drugs and postoperative outcomes in patients with gastric cancer after gastrectomy: A propensity matching analysis.	Gastric Cancer. 2023 Sep; 26: 833-842	Original Article
71	Matsui, R., Rifu, K., Watanabe, J.,et al.	胃外科	Impact of malnutrition as defined by the GLIM criteria on treatment outcomes in patients with cancer: A systematic review and meta-analysis.	Clin. Nutr. 2023 May; 42: 615-624	Others

72	Matsui, R., Sagawa, M., Inaki, N., et al.	胃外科	Impact of perioperative immunonutrition on postoperative outcomes in patients with upper gastrointestinal cancer: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials.	Nutrients. 2024 Feb; 16: 577	Review
73	Matsui, R., Sagawa, M., Sano, A., et al.	胃外科	Impact of perioperative immunonutrition on postoperative outcomes for patients undergoing head and neck or gastrointestinal cancer surgeries: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials.	Ann. Surg. 2024 Mar; 279: 419-428	Others
74	Matsuo, H., Matsui, R., Kumagai, K., et al.	栄養管理部	Impact of Olfactory Change on Postoperative Body Weight Loss in Patients with Gastric Cancer after Gastrectomy.	Nutrients. 2024 Mar; 16: 851	Original Article
75	Matsuoka, Y., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., et al.	形成外科	Postoperative hematoma-induced vasospasm after sarcoma reconstruction using a pedicled anterolateral thigh flap.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2023 Sep (オンライン); 11: e5271	Case Report
76	Matsuoka, Y., Karakawa, R., Yoshimatsu, H., et al.	形成外科	Use of the head-mounted 4K camera for recording the procedure of a flap surgery.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2023 Sep (オンライン); 11: e5298	Others
77	Matsuura, Y., Mun, M., Shintani, Y., et al.	呼吸器外科	Features of anaplastic lymphoma kinase rearrangement in early-stage lung cancer: Analysis of a nationwide Japanese database.	J. Surg. Oncol. 2023 Oct; 128: 916-924	Original Article
78	Matsuyama, M., Okamoto, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	Successful removal of a biliary metal stent using the stent-in-stent-in-stent technique.	Endoscopy. 2023 Dec (オンライン); 55: E1025-E1026	Others
79	Mie, T., Sasaki, T., Okamoto, T., et al.	肝胆膵内科	Current Status of Targeted Therapy for Biliary Tract Cancer in the Era of Precision Medicine.	Cancers(Basel). 2024 Feb(オンライン); 16: 879	Review
80	Mie, T., Sasaki, T., Okamoto, T., et al.	肝胆膵内科	Risk factors for recurrent stenosis after balloon dilation for benign hepaticojejunostomy anastomotic stricture.	Clin. Endosc. 2024 Mar; 57: 253-262	Original Article
81	Morita, T., Sasaki, T., Koizumi, Y., et al.	頭頸科	Favourable swallowing outcomes after subtotal glossectomy with laryngeal suspension.	Int. J. Oral Maxillofac. Surg. 2024 Mar; 53: 191-198	Original Article
82	Mukai, T., Maki, A., Shimizu, H., et al.	大腸外科	The economic burdens of anastomotic leakage for patients undergoing colorectal surgery in Japan.	Asian J. Surg. 2023 Oct; 46: 4323-4329	Original Article
83	Mukai, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., et al.	大腸外科	The impact of staple transection of the dorsal venous complex and urethra on intraoperative blood loss in cooperative laparoscopic and transperineal endoscopic pelvic exenteration.	Surg. Today. 2024 Jan; 54: 23-30	Original Article

84	Nagaoka, T., Osumi, H., Ueno, T., et al.	消化器化学療法科	Morphological response and tumor shrinkage as predictive factors in metastatic colorectal cancer treated with first-line capecitabine, oxaliplatin, and bevacizumab.	Int. J. Clin. Oncol. 2023 Sep; 28: 1191-1199	Original Article
85	Nakano, K.	総合腫瘍科	The future of HER2-targeted treatment for osteosarcoma: Lessons from the negative trastuzumab deruxtecan results.	Int. J. Mol. Sci. 2023 Nov; 24: 16823	Review
86	Nakatsuka, K., Karakawa, R., Fuse, Y., et al.	形成外科	Bilateral transposition flap for postoperative anal stenosis after reconstruction for paget disease.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2023 Aug (オンライン); 11: e5142	Case Report
87	Nakayama, I., Ohashi, M., Nunobe, S.	消化器化学療法科	Perioperative or neoadjuvant chemotherapy for locally advanced gastric or gastroesophageal junction cancer: from independent evidence in the West, the East, and Japan to global collaboration.	Chin. Clin. Oncol. 2024 Feb(オンライン); 13: 8	Review
88	Nakayama, I., Shinozaki, E., Kawachi, H., et al.	消化器化学療法科	Implementation of microsatellite instability testing for the assessment of solid tumors in clinical practice.	Cancer Med. 2023 Apr; 12: 7932-7940	Original Article
89	Nakayama, I., Takahari, D.	消化器化学療法科	The role of angiogenesis targeted therapies in metastatic advanced gastric cancer: A narrative review.	J. Clin. Med(オンライン). 2023 Apr; 12: 3226	Review
90	Nakayama, I., Takahari, D., Chin, K., et al.	消化器化学療法科	Incidence, clinicopathological features, and clinical outcomes of low HER2 expressed, inoperable, advanced, or recurrent gastric/gastroesophageal junction adenocarcinoma.	ESMO Open. 2023 Aug; 8: 101582	Original Article
91	Namikawa, K., Kamada, T., Fujisaki, J., et al.	上部消化管内科	Clinical characteristics and long-term prognosis of type 1 gastric neuroendocrine tumors in a large Japanese national cohort.	Dig. Endosc. 2023 Sep; 35: 757-766	Original Article
92	Narita, K., Takeuchi, K.	分子標的病理PJ/病理部, 病院病理	FISH for EBV genome in a patient with diffuse large B-cell lymphoma harboring t(14;18)(q32;q21).	Blood. 2023 Sep; 142: 1172	Others
93	Ninomiya, H., Sato, Y., Inamura, K., et al.	病理部/病院病理	Neuroendocrine and squamous cell phenotypes of NUT carcinoma are potential diagnostic pitfalls that discriminating it from mimickers, such as small cell and squamous cell carcinoma.	Diagn. Pathol. 2024 Feb; 19: 27	Original Article
94	Nishio, M., Atagi, S., Goto, K., et al.	呼吸器内科	Biomarker analysis of the phase II JO25567 study comparing erlotinib with or without bevacizumab in first-line advanced EGFR+non-small-cell lung cancer.	Transl. Lung Cancer Res. 2023 Jun; 12: 1167-1184	Original Article

95	Nishio, M., Ohe, Y., Ikeda, S., et al.	呼吸器内科	First-line nivolumab plus ipilimumab in metastatic non-small cell lung cancer: 5-year outcomes in Japanese patients from CheckMate 227 Part 1.	Int. J. Clin. Oncol. 2023 Oct; 28: 1354-1368	Others
96	Nishio, M., Paz-Ares, L., Reck, M., et al.	呼吸器内科	RELAY, ramucirumab plus erlotinib (RAM+ERL) in untreated metastatic EGFR-mutant NSCLC (EGFR+ NSCLC): Association between TP53 status and clinical outcome.	Clin. Lung Cancer. 2023 Jul; 24: 415-428	Others
97	Nishizawa, A., Shinozaki, E., Wakatsuki, T., et al.	皮膚腫瘍科	Efficacy of aluminum chloride in severe regorafenib-associated hand-foot skin reactions: A single-arm trial.	BMC Cancer. 2023 May; 23: 401	Others
98	Oba, A., Del Chiaro, M., Fujii, T., et al.	肝胆膵外科	Conversion surgery for locally advanced pancreatic cancer: A position paper by the study group at the joint meeting of the International Association of Pancreatology (IAP) & Japan Pancreas Society (JPS) 2022.	Pancreatology. 2023 Sep; 23: 712-720	Others
99	Oba, A., Maekawa, A., Inoue, Y., et al.	肝胆膵外科	Robotic splenic vessels preserving distal pancreatectomy in a post-distal gastrectomy patient.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Oct; 30: 6680-6681	Original Article
100	Ogiya, A., Nagura, N., Shimo, A., et al.	乳腺外科	Long-term outcomes of breast cancer patients with local recurrence after mastectomy undergoing immediate breast reconstruction: A retrospective multi-institutional study of 4153 cases.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Oct; 30: 6532-6540	Others
101	Ohmoto, A., Fuji, S.	総合腫瘍科	Clinical status of induction therapy incorporating a hypomethylating agent for newly diagnosed adult acute myeloid leukemia compared to the standard 7+3 regimen.	Expert Rev. Hematol. 2023 Jul; 16: 761-771	Review
102	Ohmoto, A., Fuji, S.	総合腫瘍科	Rapid T-cell lymphoma progression associated with immune checkpoint inhibitors.	Expert Rev. Hematol. 2023 May; 16: 535-541	Review
103	Ohmoto, A., Fuji, S.	総合腫瘍科	Prospects of early therapeutic interventions for indolent adult T-cell leukemia/lymphoma based on the chronic lymphocytic leukemia progression model.	Blood Rev. 2023 Jul; 60: 101057	Review
104	Okamoto, T., Hirasawa, T.	肝胆膵内科	Quality indicators in endoscopic screening and the role of artificial intelligence.	Dig. Endosc. 2024 Jan; 36: 16-18	Others
105	Okamoto, T., Ishitsuka, T., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Dilatation of hepaticojejunostomy anastomotic stricture with a drill dilator during balloon enteroscopy-assisted endoscopic retrograde cholangiopancreatography.	J. Hepatobiliary Pancreat. Sci. 2023 Jun (オンライン); 30: e41-e42	Case Report
106	Okamoto, T., Nakagawa, H., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Gel immersion cold polypectomy with a duodenoscope for supra-ampullary adenoma.	Dig. Endosc. 2024 Feb; 36: 252-253	Others

107	Okamoto, T., Sasaki, T., Takeda, T., et al.	肝胆膵内科	Rotatable sphincterotome as a rescue device for endoscopic retrograde cholangiopancreatography cannulation: A single-center experience.	Clin. Endosc. 2024 Jan; 57: 96-104	Original Article
108	Okamoto, T., Takeda, T., Mie, T., et al.	肝胆膵内科	Splenic hilar involvement and sinistral portal hypertension in unresectable pancreatic tail cancer.	Cancers (Basel). 2023 Dec(オンライン); 15: 5862	Original Article
109	Okamoto, T., Takeda, T., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy using a drill dilator.	Endoscopy. 2023 Apr (オンライン); 55 : E635-E636	Others
110	Okamoto, T., Takeda, T., Sasaki, T., et al.	肝胆膵内科	Safety and effectiveness of chemotherapy in elderly biliary tract cancer patients.	Curr. Oncol. 2023 Jul; 30: 7229-7240	Original Article
111	Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., et al.	食道外科	Neoadjuvant chemotherapy or neoadjuvant chemoradiotherapy for patients with esophageal squamous cell carcinoma: Real-world data comparison from a Japanese nationwide study.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Sep; 30: 5885-5894	Original Article
112	Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., et al.	食道外科	Development and validation of a predictive model of therapeutic effect in patients with esophageal squamous cell carcinoma who received neoadjuvant treatment: A nationwide retrospective study in Japan.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Apr; 30: 2176-2185	Original Article
113	Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., et al.	食道外科	Risk prediction of esophageal squamous cell carcinoma recurrence in patients who underwent esophagectomy after receiving neoadjuvant treatment: A nationwide retrospective study in Japan.	Esophagus. 2023 Jul; 20: 465-473	Original Article
114	Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J., et al.	食道外科	Outcomes of patients with esophageal squamous cell carcinoma who achieved a pathological complete response in the primary lesion by neoadjuvant treatment: A Japanese nationwide cohort study.	Esophagus. 2024 Jan; 21: 2-10	Original Article
115	Omi, M., Oishi Tanaka, Y., Enokida, T., et al.	婦人科	Osteomyelitis pubis caused by Pseudomonas aeruginosa secondary to surgical site infections subsequent to vulvar cancer surgeries: A case report.	Gynecol. Oncol. Rep. 2023 Oct(オンライン); 50: 101295	Case Report
116	Omiya, K., Maekawa, A., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	A proposal of ABCD metastasectomy criteria for synchronous/metachronous metastatic pancreatic cancer in the era of multidisciplinary treatment.	Br. J. Surg. 2024 Jan (オンライン); 111: znad417	Letter
117	Omiya, K., Oba, A., Inoue, Y., et al.	肝胆膵外科	Serum DUPAN-2 could be an alternative biological marker for CA19-9 non-secretors with pancreatic cancer.	Ann. Surg. 2023 Jun (オンライン); 277: e1278-e1283	Original Article

118	Onuma, H., Fuse, Y., Karakawa, R., et al.	形成外科	The pedicled anterolateral thigh flap for donor site closure after a large superficial circumflex Iliac artery perforator flap harvest.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2023 Jul (オンライン); 11: e5115	Case Report
119	Ooki, A., Osumi, H., Fukuda, K., et al.	消化器化学療法科	Potent molecular-targeted therapies for gastro-entero-pancreatic neuroendocrine carcinoma.	Cancer Metastasis Rev. 2023 Sep; 42: 1021-1054	Review
120	Osumi, H., Takashima, A., Ooki, A., et al.	消化器化学療法科	A multi-institutional observational study evaluating the incidence and the clinicopathological characteristics of NeoRAS wild-type metastatic colorectal cancer.	Transl. Oncol. 2023 Jun; 35: 101718	Original Article
121	Ota, E., Hiyoshi, Y., Matsuura, N., et al.	大腸外科	Standardization of preoperative stoma site marking and its utility for preventing stoma leakage: A retrospective study of 519 patients who underwent laparoscopic/robotic rectal cancer surgery.	Tech. Coloproctol. 2023 Dec; 27: 1387-1392	Original Article
122	Otake, R., Kumagai, K., Ohashi, M., et al.	胃外科	Reflux esophagitis after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for gastric cancer.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Apr; 30: 2294-2303	Original Article
123	Ozaki, K., Sasaki, K., Abe, H., et al.	大腸外科	Apoptosis-related prognostic factors in advanced colorectal cancer determined using tissue microarrays.	Anticancer Res. 2023 Sep; 43: 3935-3942	Original Article
124	Ozaki, Y., Kinowaki, K., Kawabata, H., et al.	乳腺内科	IL25+ macrophages are a key determinant of treatment resistance of IL17RB+ breast cancer.	Am. J. Cancer Res. 2023 Oct; 13: 4931-4943	Original Article
125	Ozawa, H., Matsuura, Y., Hashimoto, K., et al.	呼吸器外科	Prognostication using the Japanese risk calculator for lung cancer surgery.	Clin. Lung Cancer. 2023 Dec; 24: 743-752.e2	Original Article
126	Saeki, S., Iwatani, T., Kitano, A., et al.	乳腺内科	Factors associated with financial toxicity in patients with breast cancer in Japan: A comparison of patient and physician perspectives.	Breast Cancer. 2023 Sep; 30: 820-830	Others
127	Saino, Y., Kawase, F., Nagano, A., et al.	栄養管理部	Diagnosis and prevalence of sarcopenic obesity in patients with colorectal cancer: A scoping review.	Clin. Nutr. 2023 Jun; 42: 1595-1601	Original Article
128	Sakai, T., Kutomi, G., Shien, T., et al.	乳腺外科	The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for surgical treatment of breast cancer, 2022 edition.	Breast Cancer. 2024 Jan; 31: 1-7	Review
129	Sakurai, T., Yamaguchi, T., Sakamoto, T., et al.	大腸外科	Novel mobilization of the medial approach without changing the position for robotic right hemicolectomy.	Surg. Today. 2023 Nov; 53: 1317-1319	Others

130	Sano, S., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., et al.	大腸外科	Intratumoral budding and CD8-positive T-cell density in pretreatment biopsies as a predictor of response to neoadjuvant chemoradiotherapy in advanced rectal cancer.	Clin. Colorectal Cancer. 2023 Dec; 22: 411-420.e1	Original Article
131	Sano, S., Fukunaga, Y., Sakamoto, T., et al.	大腸外科	Laparoscopic resection for locally advanced rectal cancer: propensity score-matched analysis.	Br. J. Surg. 2024 Jan (オンライン); 111: znad350	Original Article
132	Sato, T., Inoue, Y., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	Laparoscopic dissection around the superior mesenteric artery by left posterior approach during pancreaticoduodenectomy.	Surg. Endosc. 2023 Nov; 37: 8871-8878	Original Article
133	Sato, Y., Ishiyama, M., Nakano, S., et al.	画像診断部	Ringlike peripheral increased iodine concentration for the differentiation of primary lung cancer and pulmonary metastases on contrast-enhanced dual-energy CT.	Am. J. Roentgenol. 2023 Jun; 220: 828-837	Original Article
134	Shigematsu, Y., Amori, G., Tanaka, K., et al.	病院病理/病理部	MHC class I loss is associated with biliary/progenitor cell features and "cold" tumor-immune microenvironment in hepatocellular carcinoma.	Virchows Arch. 2023 Aug; 483: 177-186	Original Article
135	Shigematsu, Y., Inamura, K.	病院病理, 病理部	High levels of antidrug antibodies against tezolizumab as a predictive marker for clinical outcomes in patients with hepatocellular carcinoma.	JAMA Oncol. 2023 May; 9: 725-726	Others
136	Shigematsu, Y., Inamura, K.	病理部/病院病理	Machine learning-based treatment allocation for recurrent hepatocellular carcinoma.	JAMA Surg. 2023 Oct; 158: 1113-1114	Others
137	Shimozaki, K., Nakayama, I., Takahari, D., et al.	消化器化学療法科	Efficacy and safety of trastuzumab deruxtecan and nivolumab as third- or later-line treatment for HER2-positive advanced gastric cancer: A single-institution retrospective study.	J. Gastric. Cancer. 2023 Oct; 23: 609-621	Original Article
138	Shirouchi, Y., Nishimura, N., Mishima, Y., et al.	血液腫瘍科	Prognostic value of post-treatment serum soluble interleukin-2 receptor in newly diagnosed diffuse large B-cell lymphoma patients who achieved complete metabolic response following R-CHOP therapy.	Sci. Rep. 2023 Aug(オンライン); 13: 13713	Original Article
139	Sugawara, E., Shigematsu, Y., Amori, G., et al.	病理部/病院病理	CDX2- and PAX8-expressing subtypes in female urethral adenocarcinoma: Pathogenesis insights through immunohistochemical and morphological analyses.	Diagnostics (Basel). 2023 Jul(オンライン); 13: 2408	Case Report
140	Suto, H., Inui, Y., Okamura, A.	総合腫瘍科	Is CT or FDG-PET more useful for evaluation of the treatment response in metastatic HER2-positive breast cancer? A case report and literature review.	Front. Oncol. 2023 Apr (オンライン); 13: 1158797	Case Report
141	Suto, H., Inui, Y., Okamura, A.	総合腫瘍科	Slowly progressive bone marrow metastasis of gastric cancer followed-up without treatment.	In Vivo. 2023 May; 37: 1389-1393	Case Report

142	Suto, H., Suto, M., Inui, Y., et al.	総合腫瘍科	Late-onset doxorubicin-induced congestive heart failure in an elderly cancer survivor: A case report.	Front. Cardiovasc. Med. 2023 Apr (オンライン); 10: 1124276	Case Report
143	Tachibana, T., Matsuura, Y., Ninomiya, H., et al.	呼吸器外科, 病理部/病院病理	Optimal treatment strategy for oligo-recurrence lung cancer patients with driver mutations.	Cancers (Basel). 2024 Jan(オンライン); 16: 464	Original Article
144	Takagi, K., Inoue, Y., Oba, A., et al.	栄養管理部	Impact of sarcopenia on S1 adjuvant chemotherapy and prognosis in pancreatic cancer patients.	Biosci. Trends. 2023 Sep; 17: 310-317	Original Article
145	Takahari, D., Katai, H., Takashima, A., et al.	消化器化学療法科	Perioperative TAS-118 plus oxaliplatin in patients with locally advanced gastric cancer: APOLLO-11 study.	Gastric Cancer. 2023 Jul; 26: 614-625	Original Article
146	Takahari, D., Nakayama, I.	消化器化学療法科	Perioperative immune checkpoint inhibitor therapy for gastric and gastroesophageal junction cancers: a review of current approaches and future perspectives.	Int. J. Clin. Oncol. 2023 Nov; 28: 1431-1441	Review
147	Takahashi, S.	総合腫瘍科	Management of cancer treatment-induced bone loss (CTIBL) in patients with breast cancer or prostate cancer.	J. Bone. Miner. Metab. 2023 May; 41: 307-316	Review
148	Takahashi, S., Matsumoto, K., Ohba, K., et al.	総合腫瘍科	The incidence and management of cancer-related anorexia during treatment with vascular endothelial growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitor.	Cancer Manag. Res. 2023 Sep; 15: 1033-1046	Review
149	Takano, T., Ito, M., Kadoya, T., et al.	乳腺内科	Efficacy and safety of pegfilgrastim biosimilar MD-110 in patients with breast cancer receiving chemotherapy: Single-arm phase III.	Cancer Med. 2023 Oct; 12: 20242-20250	Others
150	Takeda, T., Sasaki, T., Ichinose, J., et al.	肝胆膵内科	Outcomes of lung oligometastasis in pancreatic cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2023 Dec; 53: 1144-1152	Original Article
151	Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., et al.	肝胆膵内科	Prognostic impact of osteosarcopenia in patients with advanced pancreatic cancer receiving gemcitabine plus nab-paclitaxel.	Pancreatol. 2023 Apr; 23: 275-282	Original Article
152	Takeda, T., Sasaki, T., Yamada, Y., et al.	肝胆膵内科	Long-term outcomes of duckbill-type anti-reflux metal stents versus conventional covered metal stents in reinterventions after covered biliary metal stent dysfunction in unresectable pancreatic cancer.	Surg. Endosc. 2023 May; 37: 3498-3506	Original Article
153	Tanaka, Y. O., Chiba, T., Tonooka, A., et al.	画像診断部	Brenner tumor of the ovary: A challenging case to be differentiated from benign counterpart.	Eurorad. 2023 Jun(オンライン); DOI:10.35100/eurorad/case.18023	Case Report

154	Terayama, M., Ohashi, M., Ida, S., et al.	胃外科	Advantages of function-preserving gastrectomy for older patients with upper-third early gastric cancer: Maintenance of nutritional status and favorable survival.	J. Gastric. Cancer. 2023 Apr; 23: 303-314	Original Article
155	Terayama, M., Ohashi, M., Ri, M., et al.	胃外科	Long-term impact of sarcopenia in older patients undergoing gastrectomy for gastric cancer: A systematic review and meta-analysis.	Transl. Gastroenterol. Hepatol. 2023 Oct(オンライン); 8: 35	Original Article
156	Teruya, N., Inoue, H., Horii, R., et al.	乳腺外科	Intratumoral heterogeneity, treatment response, and survival outcome of ER-positive HER2-positive breast cancer.	Cancer Med. 2023 May; 12: 10526-10535	Original Article
157	Tokai, Y., Horiuchi, Y., Yamamoto, N., et al.	上部消化管内科	Effect of Helicobacter pylori eradication evaluated using magnifying endoscopy with narrow-band imaging in mixed-type early gastric cancer.	BMC Gastroenterol. 2023 Dec; 23: 425	Original Article
158	Tokura, J., Ide, D., Suzuki, K., et al.	下部消化管内科	Novel adjustable traction "nose knot" method for colorectal endoscopic submucosal dissection.	Endoscopy. 2023 Dec (オンライン); 56: E55-E56	Others
159	Tozuka, T., Yanagitani, N., Yoshida, H., et al.	呼吸器内科	Soluble interleukin-2 receptor as a predictive biomarker for poor efficacy of combination treatment with anti-PD-1/PD-L1 antibodies and chemotherapy in non-small cell lung cancer patients.	Invest. New Drugs. 2023 Jun; 41: 411-420	Original Article
160	Ueki, A., Yoshida, R., Kosaka, T., et al.	臨床遺伝医療部	Clinical risk management of breast, ovarian, pancreatic, and prostatic cancers for BRCA1/2 variant carriers in Japan.	J. Hum. Genet. 2023 Aug; 68: 517-526	Review
161	Wang, X., Nakano, K., Shiga, T., et al.	総合腫瘍科	Assessment of pazopanib-related heart failure in patients with advanced soft tissue sarcoma: A single institute analysis.	Circ. J. 2024 Jan; 88: 228-233	Original Article
162	Yamada, M., Okamoto, T., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Successful removal of a migrated plastic stent using a new endoscopic sheath.	Endoscopy. 2023 Dec (オンライン); 55: E1250-E1251	Others
163	Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., et al.	大腸外科	Adding induction chemotherapy before chemoradiotherapy with total mesorectal excision and selective lateral lymph node dissection for patients with poor-risk, locally advanced, mid-to-low rectal cancer may improve oncologic outcomes: A propensity score-matched analysis.	Ann. Surg. Oncol. 2023 Aug; 30: 4716-4724	Original Article
164	Yamashita, K., Baba, S., Togashi, Y., et al.	病院病理/病理部	Clinicopathologic and genetic characterization of angiofibroma of soft tissue: A study of 12 cases including two cases with AHRR::NCOA3 gene fusion.	Histopathology. 2023 Jul; 83: 57-66	Original Article

165	Yasuda, Y., Sakurai, M., Numao, N., et al.	泌尿器科	Efficacy and safety profile of olaparib for patients with metastatic castration-resistant prostate cancer: A preliminary report of real-world data in a single institution in Japan.	Int. J. Urol. 2023 Nov; 30: 1060-1062	Others
166	Yokokawa, T., Suzuki, K., Tsuji, D., et al.	薬剤部	Influence of menopause on chemotherapy-induced nausea and vomiting in highly emetogenic chemotherapy for breast cancer: A retrospective observational study.	Cancer Med. 2023 Sep; 12: 18745-18754	Original Article
167	Yonese, J., Hinata, N., Masui, S., et al.	泌尿器科	Real-world effectiveness of nivolumab and subsequent therapy in Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma (POST-NIVO study): 36-month follow-up results of a clinical chart review.	Int. J. Urol. 2023 Sep; 30: 762-772	Others
168	Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Fuse, Y., et al.	形成外科	Tube-in-tube phalloplasty with tailor-made bilateral superficial circumflex iliac artery perforator flaps using preoperative high-resolution ultrasound.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2023 Sep (オンライン); 11: e5280	Case Report
169	Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Fuse, Y., et al.	形成外科	The use of the deep brachial artery as the recipient artery for free perforator flap transfer: An anatomic study and clinical applications.	Medicina (Kaunas, Lithuania). 2023 Jun; 59: 1087	Original Article
170	Yoshioka, Y., Sasamura, K., Ito, M., et al.	放射線治療部	Treatment planning comparison of high-dose-rate brachytherapy vs. robotic and conventional stereotactic body radiotherapy for ultrahypofractionated treatment of prostate cancer.	Phys. Imaging Radiat. Oncol. 2023 Apr; 26: 100445	Original Article

170件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Ariga, A., Matsumoto, S., Tanizawa, T., et al.	整形外科	Bone metastases with "false negative" findings on 18F-FDG PET/CT in patients with angiosarcoma: A case series with literature review.	Medicine (Baltimore). 2023 Jul; 102: e34196	Case Report
2	Chin, K., Yamamoto, S., Takahashi, M., et al.	消化器化学療法科	Effectiveness of taxanes following nivolumab in patients with advanced esophageal squamous cell carcinoma: A retrospective chart review of patients in ATTRACTION-3.	Esophagus. 2023 Apr; 20: 302-308	Review
3	Fukai, S., Daisaki, H., Ishiyama, M., et al.	核医学部	Reproducibility of the principal component analysis (PCA)-based data-driven respiratory gating on texture features in non-small cell lung cancer patients with 18F-FDG PET/CT.	J. Appl. Clin. Med. Phys. 2023 May (オンライン); 24: e13967	Others
4	Harada, H., Hayami, M., Makuuchi, R., et al.	胃外科	A sandwiching method that simplifies hepatic left lateral segment inversion to secure an optimal surgical view around the esophageal hiatus in laparoscopic and robotic gastrectomy for upper gastric and esophagogastric junction cancers.	Langenbecks Arch. Surg. 2023 Apr; 408: 159	Letter
5	Hata, T., Ito, H.	肝胆膵外科	Biliary parasitic diseases associated with hepatobiliary carcinoma.	Visc. Med. 2023 Aug; 39: 71-75	Review
6	Kanie, Y., Okamura, A., Kanamori, J., et al.	食道外科	Postoperative complications following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy: Comparison between cervical and anterior mediastinal tracheostomy.	Ann. Otol. Rhinol. Laryngol. 2023 Jul; 132: 770-776	Original Article
7	Kitano, Y., Inoue, Y., Sato, Y., et al.	肝胆膵外科	Management of potential portal vein thrombus during laparoscopic right hemihepatectomy following portal vein embolization.	Langenbecks Arch. Surg. 2024 Feb; 409: 56	Original Article
8	Marshall, S., Wakatsuki, T., Takahari, D., et al.	消化器化学療法科	Prognostic factors in patients with advanced HER2-positive gastric cancer treated with trastuzumab-based chemotherapy: A cohort study.	J. Gastrointest. Cancer. 2023 Jun; 54: 475-484	Original Article
9	Maruyama, D., Omi, A., Nomura, F., et al.	血液腫瘍科	Real-world effectiveness and safety of ibrutinib in relapsed/refractory mantle cell lymphoma in Japan: post-marketing surveillance.	Int. J. Hematol. 2024 Feb; 119: 146-155	Original Article
10	Maruyama, S., Okamura, A., Kanie, Y., et al.	食道外科	Prognostic significance of circulating basophil counts in patients who underwent esophagectomy for esophageal cancer.	Langenbecks Arch. Surg. 2023 Jun; 408: 235	Original Article
11	Nakajima, N., Isobe, T., Furuyama, Y., et al.	放射線治療チーム	Analysis of source dwell position during treatment in brachytherapy using CT scout images.	J. Contemp. Brachytherapy. 2023 Oct; 15: 357-364	Original Article
12	Nakano, K.	総合腫瘍科	Inflammatory myofibroblastic tumors: Recent progress and future of targeted therapy.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2023 Oct; 53: 885-892	Review

13	Nakao, E., Fujisaki, J., Nakano, K., et al.	上部消化管内科	Early esophageal adenocarcinoma with non-Barrett's columnar epithelium origin: Two case reports and a literature review.	Intern. Med. 2023 Jul; 62: 1939-1946	Case Report
14	Ohmoto, A., Hayashi, N., Takahashi, S., et al.	総合腫瘍科	Current prospects of hereditary adrenal tumors: towards better clinical management.	Hered. Cancer Clin. Pract. 2024 Ma(オンライン); 22: 4	Review
15	Omura, K., Murakami, Y., Hashimoto, K., et al.	呼吸器外科	Detection of EGFR mutations in early-stage lung adenocarcinoma by machine learning-based radiomics.	Transl. Cancer Res. 2023 Apr; 12: 837-847	Original Article
16	Ono, Y., Inoue, Y., Kato, T., et al.	肝胆膵外科	New approach of circumferential lymph node dissection around the superior mesenteric artery for pancreatic cancer during pancreaticoduodenectomy (with video).	Langenbecks Arch. Surg. 2023 Nov; 408: 422	Original Article
17	Sato, S., Oba, A., Kato, T., et al.	肝胆膵外科	Feasibility of laparoscopic radical antegrade modular pancreateosplenectomy (RAMPS) as a standard treatment for distal resectable pancreatic cancer.	Langenbecks Arch. Surg. 2023 May; 408: 217	Original Article
18	Sato, Y., Takahashi, S., Toshiyasu, T., et al.	総合腫瘍科	Squamous cell carcinoma of the eyelid.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2024 Jan; 54: 4-12	Review
19	Seki, M., Ninomiya, E., Saiura, A., et al.	肝胆膵外科	Clinicopathological study of surgically treated non-neoplastic diseases of the pancreas with special reference to autoimmune pancreatitis.	Langenbecks Arch. Surg. 2023 Jun; 408: 223	Original Article
20	Soyano, T., Kozuka, T., Kashihara, K., et al.	放射線治療部	Intensity-modulated radiation therapy for intermediate-risk prostate cancer: Does ADT still have an impact in the dose-escalated external beam radiation therapy era?	Jpn. J. Clin. Oncol. 2023 Jun; 53: 514-521	Original Article
21	Suzuki, K., Ikenoyama, Y., Hirasawa, T., et al.	上部消化管内科	Clinical course and treatment of radiation-induced hemorrhagic gastritis: A case series study.	Clin. J. Gastroenterol. 2023 Apr; 16: 152-158	Case Report
22	Takeda, M., Kataoka, A., Abe, T., et al.	乳腺外科	Childbirth after perioperative systemic therapy in patients with breast cancer: A retrospective single institutional study in Japan.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2023 Jun; 53: 457-462	Original Article
23	Takeda, T., Okamoto, T., Sasaki, T., et al.	肝胆膵内科	The impact of osteosarcopenia in patients with unresectable or recurrent biliary tract cancer receiving palliative chemotherapy.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2023 Nov; 53: 1051-1057	Original Article
24	Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T., et al.	肝胆膵内科	Impact of the extent of weight loss before administration on the efficacy of anamorelin in advanced pancreatic cancer patients with cachexia.	Intern. Med. 2023 Jul; 62: 1887-1893	Original Article

25	Tamagawa, S., Hashimoto, K., Ichinose, J., et al.	呼吸器外科	Phrenic nerve interposition in a completely portal robotic thymectomy.	JTCVS Tech. 2023 Aug; 20: 182-185	Case Report
26	Terayama, M., Kumagai, K., Kawachi, H., et al.	胃外科	Optimal resection of gastric bronchogenic cysts based on anatomical continuity with adherent gastric muscular layer: A case report.	World J. Gastrointest. Surg. 2023 Jun; 15: 1216-1223	Case Report
27	Tokura, J., Yoshio, T., Hayashi, S., et al.	尿部消化管内科	Medical radiation exposure during gastrointestinal enteral metallic stent placement: Post hoc analysis of the REX-GI study.	JGH Open. 2023 Dec; 7: 869-874	Original Article
28	Uryu, H., Mishima, Y., Ishihara, Y., et al.	血液腫瘍科	Complex karyotype determined using conventional cytogenetic analysis is a poor prognostic factor in patients with multiple myeloma.	J. Clin. Exp. Hematop. 2024 Mar; 64: 10	Original Article
29	Watanabe, M., Kuriyama, K., Terayama, M., et al.	食道外科	Robotic-assisted esophagectomy: Current situation and future perspectives.	Ann. Thorac. Cardiovasc. Surg. 2023 Aug; 29: 168-176	Review
30	Yamada, M., Okamoto, T., Sato, Y., et al.	肝胆膵内科	Late-onset hemobilia due to pseudoaneurysm rupture after endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy.	Clin. J. Gastroenterol. 2023 Oct; 16: 743-747	Case Report
31	Yoshimatsu, H., Karakawa, R., Scaglioni, M. F., et al.	形成外科	Use of intraoperative indocyanine green angiography for detection and prediction of congestion in pedicled island flaps.	Microsurgery. 2023 Jul; 43: 452-459	Case Report

計31件

注 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
手順書の主な内容	
① 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書	
② 公益財団法人がん研究会医学系研究倫理審査委員会標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回 (別途迅速審査あり)

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反マネジメントポリシー	
・ 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反の管理に関する規約	
・ 利益相反委員会規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
<p>・研修の主な内容</p> <p>APRIN e-ラーニングプログラム（医学系研究者標準コース）：</p> <p>2023年4月～8月に受講（1回）</p> <p>ICRweb（e-ラーニング）：2023年4月～2024年3月に1回受講</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各コース、プログラムに従い研修を進める。また、各コースプログラムのローテーションを希望する医師は、選択したコースプログラムに関連する診療科部門を3ヶ月から最大12ヶ月の期間で研修を行う。研修にあたっては、各コースとも、教育責任者1名と学会専門医などの資格を有する指導医を複数名配置し、チーム全体での指導が受けられる体制をとっている。

更に、各診療科のカンファレンスにも参加し、特にカンサーボードでの検討に基づく集学的医療を実践する。加えて基礎的ながん研究を行うがん研究所も併設しており、専門の研究者との交流も行い知識を深めてもらう。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	134 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西尾 誠人	呼吸器内科	呼吸器センター長	35 年	
山口 研成	消化器内科	部長	34 年	
高野 利実	乳腺内科	部長	26 年	
丸山 大	血液腫瘍科	部長	25 年	
高橋 俊二	総合腫瘍科	部長	41 年	
米瀬 淳二	感染症科 泌尿器科	部長	38 年	
松本 禎久	緩和治療科	緩和ケアセンター長	25 年	
清水 研	腫瘍精神科	部長	26 年	
吉野 公二	皮膚腫瘍科	部長	25 年	
金尾 祐之	婦人科	部長	27 年	
辻 英貴	眼科	部長	32 年	
文 敏景	呼吸器外科	部長	27 年	
渡邊 雅之	消化器外科	部長	34 年	
上野 貴之	乳腺外科	部長	32 年	
阿江 啓介	整形外科	部長	31 年	
矢野 智之	形成外科	部長	24 年	
三谷 浩樹	頭頸科	部長	36 年	
宮北 康二	脳腫瘍外科	部長	31 年	
吉岡 靖生	放射線治療部	部長	29 年	
河内 洋	病理部	部長	27 年	
寺嶋 克幸	麻酔科 集中治療部 救急部	部長	31 年	
富塚 健	歯科	部長	38 年	
森 健作	画像診断部	部長	30 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべ

- てのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>① ICLS講習会 ② BLS講習会</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>① 2023年6月24日、2023年10月28日、2024年2月24日 計3回 ② 2023年5月～2024年3月の期間で24回</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>① 29人 ② 175人</p>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>① 2023年 9月30日：がん診療等に係る医師等に関する緩和ケア研修会web形式（19人） ② 2023年12月16日：がん診療等に係る医師等に関する緩和ケア研修会web形式（22人） ③ 2023年 7月 9日：薬剤師研修会第1回web形式（765人） ④ 2023年10月28日：薬剤師研修会第2回Hybrid形式（401人） ⑤ 2024年 3月 9日：薬剤師研修会第3回Hybrid形式（363人） ⑥ 2024年 2月15日：看護師研修会web形式（254人） ⑦ 2024年 3月16日：放射線腫瘍医研修会web形式（92人） ⑧ 2024年 3月23日：がんの薬物療法研修会web形式（82人） ⑨ 2024年 2月 9日～3月8日：診療放射線技師研修会web形式（264人） ⑩ 2024年 1月22日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）共通編（12人） ⑪ 2024年 1月29日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）職種別編 薬剤師（8人） ⑫ 2024年 2月14日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）職種別編 リハビリ職（18人） ⑬ 2024年 2月19日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）職種別編 管理栄養士（15人） ⑭ 2024年 2月26日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）職種別編 MSW/心理職（12人）</p> <p>①～⑭合計 開催回数：14回 合計参加者数：2,327人</p>

(注)1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注)2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門

的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	佐野 武	
管理担当者氏名	各管理責任部署の長	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	院長室	…病院日誌は、院長室、各診療科医局、処方せんは薬剤部。他、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、患者に係る入院経過の要約及び入院飲料計画書は電子カルテ等によるシステム管理。紹介状の原本については、診療情報管理室にて保管。 …診療録を病院外に持ち出す際の取り扱いについては、原則、禁止としている。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	手術室	
		看護記録	IT推進課	
		検査所見記録	IT推進課	
		エックス線写真	IT推進課	
		紹介状	IT推進課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事部	…人事部で作成管理。
		高度の医療の提供の実績	先進がん治療開発センター	…先進医療の年度報告をファイル保管。
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課及び高難度新規医療技術管理部	…学術研究委員会の活動記録（議事録等）を保管。
		高度の医療の研修の実績	人事部	…人事部にてファイル保管。
		閲覧実績	各管理責任部署	…開示請求に基づき各管理責任部署が対応。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及びIT推進課	…電子カルテによるシステム管理
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部	…医事システム。但し、調剤数は薬剤システムでデータを管理。	
第一規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。	

	医療に係る安全管理のための委員会 の開催状況	医療安全管理部	…医療安全管理委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び、共有ファイルにデータ保管。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	…医療安全職員研修会の開催記録をファイル保管。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	…各現場からの I A レポート報告及びその改善のための医療安全管理委員会等での検討内容をファイル保管。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部
	第四号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
	第五号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第六号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第七号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第八号	医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター
	第九号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター
第十号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	購買課	
第十一号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	購買課	

…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。

…院内感染対策委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。

…院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。

…各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管
…医薬品安全管理責任者を配置。

…医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。

…薬剤部にてファイル保管。

…医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

…医療機器安全管理責任者を配置。

…医療機器の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。

…自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。

…購買課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	…医療安全管理責任者を配置し、組織図で明示。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療クオリティマネジメントセンター	…院内感染対策の専任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	…薬剤部にてファイル保管
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理室	…インフォームドコンセント委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室	…診療情報管理委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		医療安全管理部門の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部、院内感染対策部、クオリティインプループメント部、医療クオリティマネジメント部を統括している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター	…平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに高難度新規医療技術管理部を設置。
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター	…平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに未承認新規医薬品等管理部を設置。
		監査委員会の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター	…平成28年8月10日付で監査委員会を設置し、平成28年度は委員会を2回開催。
入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。		

	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	…患者相談室でファイル保管。
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査コンプライアンス室	…監査コンプライアンス室でファイル保管。
	職員研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者が有する権限に関する状況	総務部	…総務部でファイルにて保管。
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室	…監査室でファイルにて保管。
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部	…総務部でファイルにて保管。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	佐野武	
閲覧担当者氏名	総務部 総務課 山崎周士	
閲覧の求めに応じる場所	総務課、患者相談窓口、相談室等	
閲覧の手続の概要		
総務課、患者相談窓口にて閲覧申請の初期対応を実施。申請内容により各記録の担当者へ連絡、閲覧の承認を得た後、申請者へ連絡・閲覧を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>第1 医療安全管理に関する基本的考え方 第2 医療安全管理委員会・組織に関する基本的事項 第3 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 第4 アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第5 重大事故発生時の対応に関する基本方針 第6 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 第7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ 有・無 ）</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理のための指針の策定及び改訂並びに職員への周知 2) 医療安全に係る問題の調査および分析 3) 前号の結果を活用し、改善のための方策の企画立案及び実施 4) 前号の改善のための方策の職員への周知 5) 改善のための方策の実施状況の調査および必要に応じて当該方策の見直し 6) 入院患者死亡報告および重大事故報告の状況確認及び病院長への確認結果の報告 7) 前号の実施状況が不十分な場合の職員への研修および指導 8) その他、医療に係る安全管理のための業務</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年27回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>1) 医療安全・感染対策全体研修会（2023/5/15）：e-learning配信あり ①トラブルを未然に防ぐ診療記録の書き方・患者対応 ②さまざまな怒りへの対応～これを知っておけばもう迷わなくていい～</p> <p>2) 医療安全研修会（2023/11/30）：e-learning配信あり ①免疫抑制・化学療法によるHBV再活性化に関する基礎知識と最新情報 ②がん研HBV再活性化防止管理体制</p> <p>3) 医療安全・感染対策全体研修会（2023/12/18）：e-learning配信あり 1999年12月28日 私たちは忘れないこの日を</p> <p>4) 新入職員研修 24回（毎月1日、16日に開催） 5) 復職者研修 都度開催</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) 当事者又は発見者がIAレポートシステムを用いてIA報告を行う。 2) RM部会でIA報告の事例共有、改善の検討または依頼をおこなう。必要時</p>	

には医療安全管理委員会へ上申する。

- 3) 各部署またはRM部会にて立案した改善案を基に医療安全管理委員会で改善策を検討、決定する。
- 4) 病院管理者連絡会議や部署RM連絡会などで事例と改善策を周知する。
- 5) 改善策の実施後、モニタリングなどで改善策の効果の評価をおこなう。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会等、院内感染対策の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他院内感染対策推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策マニュアルの作成および最新の科学的・公衆衛生学的情報を踏まえた定期的な改訂 2. 院内感染対策の実施状況の報告と改善策の立案 3. 院内の感染症発生状況のサーベイランス結果の報告と結果を踏まえた改善策の立案 4. アウトブレイクあるいは重要感染症発生時（疑い時を含む）の状況・対応報告と改善策の立案 5. 院内感染に関する情報収集・共有および内外への情報発信の検討 6. 職業感染予防策の実施状況の報告と改善策の立案 7. 抗菌薬使用状況・多剤耐性菌等のサーベイランス情報の共有と改善策の立案 8. その他、院内感染対策及びその防止にかかわるすべての事項 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 44 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入職員研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 感染管理・感染症診療について（1回） 2. 看護部新採用者オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 感染対策について（1回） 3. 中途採用者（新採用者）オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 感染管理・感染症診療について/e-learning（24回） 4. 復職者研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 感染管理・感染症診療について/e-learning（都度開催） 5. 病院全体研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 2023年度第1回（開催日：2023年5月15日）（1回） <ul style="list-style-type: none"> 講演1：これからのコロナとの付き合い方 講演2：抗菌薬の適正使用について ⇒ 2023年度第2回（開催日：2023年12月18日）（1回） <ul style="list-style-type: none"> 講演1：抗菌薬の適正使用について 講演2：薬剤耐性菌対策 6. 委託業者研修 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 清掃スタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 手指衛生（3回） ⇒ 個人防護具の着脱（3回） ▪ リネンスタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 手指衛生（2回） ▪ 警備・設備整備スタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 手指衛生（4回） ▪ 中材スタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 手指衛生（2回） ▪ 物品管理スタッフ研修 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 手指衛生（2回） 	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 感染対策および感染症診療に関するコンサルテーション体制の整備
 2. 院内ラウンドを行い、感染対策に関する問題点の把握・分析、対策の立案、実施・評価
 3. 感染症発生状況および感染対策に関する情報提供（感染情報レポート・ICTニュースを作成し、院内ネットワーク掲示板に掲載）
 4. 院内感染対策マニュアルの整備
 5. 職業感染予防策の実施（ウイルス抗体価測定、ワクチン接種、針刺し・粘膜曝露対応）
 6. 手指衛生の指導と実施状況のモニタリング
 7. 院内感染対策実施のための院内の各部門・部署との連携

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 研修会名：令和5年度 医薬品安全管理研修会 開催方法：e-learning 開催期間：2023年12月6日～2024年1月19日 対象職種：医師、看護師、薬剤師 参加人数：957名 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ✓ 手順書は、医政局長通知（H19.3.30）に基づき必要事項について作成 ✓ 処方から投薬までの一連の業務手順について ✓ 医薬品の使用前の、容器やふたの損壊や異物混入等がないかの確認方法 ✓ 注射薬の混合調整を行う場合の処方せん・ラベル・注射薬の照合方法 ✓ 医薬品の保管に係る施錠管理等、盗難・紛失防止の対策 等 ・ 当該手順書に基づく業務の実施状況の確認 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 病棟担当薬剤師は週1回、外来担当薬剤師は月1回、「医薬品安全使用のためのチェックリスト」を用いて状況を確認し、医薬品管理室担当者へ報告する。 ✓ 医薬品管理室担当者は、医薬品安全使用のためのチェックリストをもとに報告書を作成し、医薬品安全管理責任者へ報告する。 ✓ 医薬品安全管理責任者は、月1回 院内をラウンドし、手順書に基づく業務の実施状況を確認する。ラウンド時の指摘事項については、次回ラウンド時に改善状況を確認する。 ✓ 手順書は、医薬品安全管理委員会にて、年1回見直しを行っている 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 未承認医薬品：1件 IDH1遺伝子変異を有する胆道がんに対するivosidenib（国内未承認薬） ・ 適応外使用報告：393件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告から未承認新規医薬品等管理部への申請対応となった案件：13件 気胸に対するピシバニールによる胸膜癒着 高濃度カリウムの静脈内投与 大動脈血栓に対するアピキサバン 門脈血栓に対するアピキサバン 門脈血栓に対するエドキサバン トルソー症候群に対するアピキサバン トルソー症候群に対するエドキサバン COVID-19肺炎に対するニルマトレルビル・リトナビルの長期投与 悪心に対するアセナピン（舌下） 	

膣癌に対するシスプラチン・放射線併用療法
乳房外パジェット（外陰部）に対するイミキモド
小腸癌に対するXELOX療法（カペシタビン、オキサリプラチン）
デスマイド腫瘍に対するパゾパニブ

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - * PMDAやメディナビ、SAFE-DIに登録し採用医薬品（非採用医薬品含む）の情報収集
 - * 学会誌や業界誌（日刊薬業、メディファックス等）の定期購読による情報収集
 - * 採用医薬品の販売メーカー担当MRとのWEB面談での情報収集
 - * 近隣連携施設（病院、保険薬局含む）との定期面談による情報収集
 - * 医薬品情報担当薬剤師と臨床担当薬剤師等からの副作用発生等の情報共有・把握
 - * 適応外使用に該当する注射薬を含む化学療法レジメン適応症例の把握体制

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年64回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 人工呼吸器の取扱いについて ・ 血液浄化装置の取扱いについて ・ 除細動器の取扱いについて ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いについて ・ リニアックの取扱いについて ・ 診療用放射線治療装置の取扱いについて ・ 新規導入医療機器の取扱いについて 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・ 委託業者による定期点検及び当院臨床工学技士による自主点検 ・ 人工呼吸器 ・ 血液浄化装置 ・ 除細動器 ・ 診療用高エネルギー放射線発生装置 ・ 診療用放射線照射装置 ・ 医用X線CT装置 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：昨年度使用事例無し ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>・ 安全情報については行政・PMDAからの情報を確認、また、製造販売業者からの通知、新聞記事などから情報収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ通知する。また、電子カルテ上に医療機器安全管理の掲示板を設置し、随時情報を職員に提供している。</p> <p>・ 院内で発生したIA事例についてはイントラネットを活用し、医療安全通信に掲載して院内全体に情報発信して注意喚起を行っている。</p> <p>・ 不具合が生じた医療機器に関しては直ちにPMDAへ報告し改善を求めている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会の委員長を務めている。委員会の運営において、委員として参加している「医薬品安全管理責任者」、「医療機器安全管理責任者」、「医療放射線安全管理責任者」に活動状況を報告させている。また、医療クオリティマネジメントセンター長として「医療安全管理部」ならびに「院内感染対策部」を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(7名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 医薬品情報室担当薬剤師は、医薬品に関する情報を整理し、医薬品安全管理責任者へ報告する ✓ 医薬品安全管理責任者は、必要に応じて、医薬品安全管理委員会で医薬品安全使用に係る対策を検討し、医療安全管理委員会、病院運営会議、診療部長会議等で報告周知を行う ✓ 医薬品情報室担当薬剤師は、病棟担当薬剤師と連絡会議を開催し、医薬品安全使用の係る情報を共有する。 ✓ 病棟担当薬剤師は、情報のレベルに応じて、医師や看護師へ情報提供を行う <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治験/臨床研究 → IRB (臨床研究等倫理審査委員会) で審議、承認 ・ 試薬等を用いる特殊院内製剤 → 薬事審議委員会で審議、承認。その後、未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認。 ・ 患者の持込み等 (例:入院時の薬剤師による持参薬確認等で把握) <p>→ 使用に際しては未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適応外使用医薬品 <p>→ 当該使用のリスク等を考慮して未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認</p> <p>・ 担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・ 担当者の所属・職種 :</p>	

(所属：医薬品安全管理委員会 ， 職種 医師、看護師、薬剤師、事務 (QMC スタッフ、購買課))	
(所属：医薬品情報室 ， 職種 薬剤師)	
(所属：医薬品管理室 ， 職種 薬剤師)	
(所属：未承認新規医薬品等評価委員会， 職種 医師、看護師、薬剤師、事務 (QMCスタッフ))	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：同席者・説明項目等、説明文書に用いる項目については、医療安全マニュアルで定めている。</p> <p>説明実施の確認は、診療情報管理委員会にて行う診療情報監査項目に含まれており IC 委員会による監査を代行している。監査結果は各診療科部長に連絡し、病院管理者連絡会及び IC 委員会にて結果報告している。改善が必要な内容に関しても各診療科部長へ指導を行っている。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<p>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理や記載内容の確認及び指導は、診療情報管理委員会が統括し、IC 委員会と診療情報管理室および関連する院内各部が連携して実施した。診療情報管理委員長は診療情報管理責任者が就いている。</p> <p>診療情報監査は、委員長 1 名と医師委員 3 ～ 6 名による主査副査方式による診療録質的監査と、薬剤師による薬剤管理記録監査、栄養管理部による栄養管理記録監査、看護部による看護記録監査、診療情報管理士による診療録等の量的監査から構成される。量的監査は全診療科 1 ヶ月分の全退院患者の診療記録を対象とする。質的監査は、毎月当該診療科をしてつきに退院患者から 3 ～ 6 名を量的監査結果より抽出して実施する。また IC 委員会の代行として、説明同意の内容記録についても監査する。</p> <p>上記の監査結果は診療情報管理委員会にて審議し、当該診療科部長と診療科診療情報管理委員会委員医師へ報告し、不備については改善を勧告し、月次開催される病院管理者連絡会議と IC 委員会報告する。特に問題のある診療記録内容については、再監査を行い診療情報管理委員会委員長が、当該医師・職員に面談し口頭指導する。看護記録監査は看護部よる手順により全看護師が参加して行っている。</p>	

質的監査（医師）

記載原則

- 記載された順に従って閲覧するだけで患者の全体像が把握できる
- 診療の都度、遅滞なく速やかに記載されている
- 適切に SOAP を用いて記載されている
- 外国語・略語は適切に使用されており、誤字脱字は認められない
- 事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない
- 医師・スタッフの私的メモや備忘録など不適切な表現がない

IC の記載

- 適切なタイミングで IC が実施され、記載されている
- 病名・病態の説明がされている
- 治療や検査の目的・必要性の説明がされている
- 治療や検査の内容の説明がされている
- 期待される効果の説明がされている
- 予測される毒性等の説明がされている

傷病名の記載

- 正しい病名登録がされている
- 入院の契機となった主病名・副病名が的確である

入院期間

- 処置・処方指示記載・変更・訂正は正しく行われている

退院サマリー

- 正確かつ他者から見て理解できる内容である

投薬時の記載

- 投薬時に正しく診療内容が記載されている

質的監査（薬剤部）

記載原則

- 患者指導の都度、遅滞なく速やかに記載されている
- 適切なプロブレムが挙げられている
- SOAP 形式で記載されている
- “日本語で記載されており外国語・略語は使用していない”

コピー&ペーストは多用されていない

事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない

誤字・脱字が認められない

私的メモや備忘録は記載されていない

感情的な記載など不適切な表現がない

“薬剤管理指導

算定の記録 薬剤管理指導実施の文言がある

“プロブレムリストを用いている

抗血栓薬がある場合はテンプレートを用いて評価している

“手術患者への記載内容

手術日、術式の記載がある

術前中止薬の有無、薬剤アレルギー、既往歴の記載がある

パスを使用するにあたっての注意すべき疾患の有無

パス説明実施、理解度、薬剤についての評価が記載されている

“がん化学療法患者への記載

経過日、検査値、バイタル、糖尿病、B型肝炎の抗体・抗原についての記載がある

がん患者指導テンプレートを用いている

Grade 2以上の有害事象について評価されている

“麻薬加算について

オピオイドの服薬状況について記載がある

NRS、疼痛部位について記載がある

“退院時指導について

退院処方説明実施と理解度の記載がある

術前中止薬の再開の確認がされている

質的監査（栄養管理部）

栄養指導

栄養指導実施の記録（指示内容、実施時間）

栄養サポーターチーム

初回栄養スクリーニングシートの作成

カンファレンスの記録（参加者、計画案）

栄養治療実施計画の作成

量的監査（診療情報管理員）

入院診療計画書・診療記録・手術記録・麻酔チャート・手術看護記録・退院サマリー・
看護サマリー・退院支援計画書・部長回診

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（4）名

うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

うち臨床工学技士：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

うち診療放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- 1) 専従の医師：看護師・薬剤師による医療安全に関する職員の意識の向上や指導のための教育・研修の実施
- 2) 医療事故防止の取り組み。日々のインシデント・アクシデント報告をもとに、情報収集・分析・対策の立案、必要な指導を実施。
- 3) 医療安全管理委員会で検討を行う事例の調査並びに資料作成
- 4) 医療安全通信の発行や医療事故情報の配信
- 5) 院内死亡および重大事例への対応。事実の確認と検証を行い、有害事象調査委員会の資料作成および再発防止策の検討、策定、評価の実施。
- 6) 日本医療機能評価機構、医薬品医療機器総合機構などへの事故等報告書の作成および報告。
- 7) 週1回、院内4か所の医療安全ラウンドを実施し、職員の医療安全に関する知識や実際の現場状況を確認
- 8) 部署リスクマネージャー連絡会、リスクマネージャー部会の開催
- 9) 医療安全研修会の企画立案および実施
- 10) 新入職員ならびに復職者への研修の実施（中途採用を含む）
- 11) 医療安全外部監査委員会の実施
- 12) 特定機能病院間の相互訪問の実施

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識に

についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（4件）、及び許可件数（4件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - 1) 高難度新規医療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否、実施の条件等について意見を求め、高難度新規医療技術の提供の適否、実施条件等を決定する。
 - 2) 定期的な手術記録、診療録等の記載内容の確認等、高難度新規医療技術の提供に関する従業者の遵守状況を確認する事。
 - 3) 病院長への定期的な報告。
 - 4) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（55件）、及び許可件数（45件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：未承認新規医薬品等管理部では
 - 1) 未承認新規医薬品等評価委員会に対し、使用の適否、使用条件等について意見を求め、未承認新規医薬品等の院内で定めたりスク分類を踏まえ、使用の適否、使用条件等を決定する。
 - 2) 定期的な診療録等の記載内容の確認等、その使用についての遵守状況の確認
 - 3) 未承認新規医薬品等の使用患者における重篤な有害事象及び死亡症例の対応
 - 4) 病院長への定期的な報告、遵守状況、有害事象・死亡報告の対応では随時報告
 - 5) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・ 無 ）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 437 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 182 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

オンラインシステムを用いて、担当医が医療安全管理部へ死亡報告書を提出する。医療安全管理部では報告書の記載内容を確認し、さらに情報収集も行いリスト化し、病院長へ毎日報告を行う。医療安全管理委員会では、定例議題として前述の入院患者死亡報告及び重大事象報告を共有しており、医療安全管理部が確認した内容と共に各事例を検討・評価し、医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が検討・評価結果を添えて病院長へ報告する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：岩手医科大学付属病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：岩手医科大学付属病院）・無）

・技術的助言の実施状況

①内服管理において、PTP シートを切らずに管理する方法が推奨されているため、検討することへの助言に対して、医薬品安全管理委員会と共に検討する方針とし、「お薬をご自身で管理する患者さんへ」を表題とする説明用紙を作成し、説明の中に服薬管理として PTP シートを切り離すことには PTP シートを誤飲するリスクがあることを明記した。また、2024 年 1 月から入院期間中に内服薬を自己管理する患者に服薬指導を行う際に上記用紙を用いて PTP 誤飲防止に対する説明を開始した。

②未承認新規医薬品等管理部は、申請された医薬品・医療機器のエビデンス等を検討する重要な部門であると考えられることから業務が多岐に渡るため、担当者（薬剤師）の増員を検討するよう助言があり、今後の課題として検討を行い、2024 年 8 月現在で薬剤部所属の担当薬剤師 1 名/日の増員を行った。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

◆患者相談窓口の設置（看護師 2 名、MSW1 名、事務職員 1 名）

外来休診日を除く毎日 9 時～17 時、相談に応じている

◆患者相談窓口の活動に関する患者等への明示（ポスター）

患者相談窓口の活動の趣旨、設置場所、担当者・責任者、対応時間を明記

- ◆患者相談窓口規約の整備
- ◆相談者への適切な配慮（患者・家族が不利益を受けないよう記載内容には配慮する）
- ◆相談窓口以外の相談受付方法 電話相談、投書箱、お問い合わせメール、手紙
- ◆相談の処理方法：記録したものを電子カルテ内ファイルサーバーで管理、管理者への報告、各部署との連携、安全対策・業務等の見直しへの活用
- ◆相談内容の共有：患者相談窓口カンファレンス（1回／週）開催、カンファレンス参加メンバー以外に上層部へ報告書の回覧（1回／月）、QMC運営委員会（1回／月）へ事例と改善について報告

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
- 1. 全体研修会（2回）
 - 2023年度第1回（開催日：2023年5月15日）
 - 講演1：トラブルを未然に防ぐ患者対応・診療記録の書き方
 - 講演2：さまざまな怒りへの対応～これを知っておけばもう迷わなくてもいい
 - 2023年度第2回（開催日：2023年12月18日）
 - 演題：1999年12月28日私達はわすれないこの日を
- 2. 医療安全研修会（1回）
 - 2023年度第1回（開催日：2023年11月30日）
 - 講演1：免疫抑制・化学療法によるHBV再活性化に関する基礎知識と最新情報
 - 講演2：がん研HBV再活性防止管理体制
- 3. 新入職員研修（24回）
 - 医療安全とリスクマネジメントについて/e-learning
 - ※ 毎月1日及び16日に開催
- 4. 復職者研修（都度開催）
 - 医療安全とリスクマネジメントについて/e-learning

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

役職・氏名： 病院長 佐野 武

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2023年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2023年12月15日

【医療安全管理責任者】

役職・氏名： 副院長/泌尿器科/医療クオリティマネジメントセンター長 米瀬淳二

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2023年度特定機能病院管理者研修」

受講日 : 2023 年 12 月 4 日

【医薬品安全管理責任者】

役職・氏名 : 院長補佐/薬剤部長/麻薬管理責任者 山口正和

研修会名 : 公益財団法人日本医療機能評価機構「2023 年度特定機能病院管理者研修」

受講日 : 2023 年 12 月 15 日

【医療機器安全管理責任者】

役職・氏名 : ME センター長/頭頸科部長 三谷浩樹

研修会名 : 公益財団法人日本医療機能評価機構「2023 年度特定機能病院管理者研修」

受講日 : 2023 年 12 月 15 日

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

【受審日】2022 年 5 月 18 日・19 日・20 日

【受審種別】一般病院 3

【経過と結果】

■2022 年 9 月 27 日 : 補充的審査 受審

■2022 年 11 月 4 日 : 「一般病院 3」…条件付認定

(認定期間 : 2022 年 2 月 19 日 ~ 2023 年 6 月 30 日)

【改善指摘事項と指摘事項に対する取り組み】

1. 4. 2 SSI 及びデバイス関連サーベイランスの拡大に向け、貴院が補充的審査で提示した改善策を継続的に実践してください。

➡ (評価を踏まえた措置内容) SSI サーベイランスについて、以前より継続している大腸外科に加え、大半の外科系診療科を段階的に対象として追加している。

1. 5. 4 医薬品の禁忌・適応外使用において、説明文書の内容、管理部による把握・確認について貴院が補充的調査で提示した改善策を継続的に実践してください。

➡ (評価を踏まえた措置内容) 対象となる医薬品についてリスク分けを行い、リスク分類の規定に従って使用時の報告書の提出を求めモニタリングを実施している。また、IC 委員会との連携を密にし説明文書の管理等を厳密に行っている。

3. 1. 6 診療記録の量的点検項目を拡充した上で、全退院患者に対する点検を確実に実施してください

い。

➡（評価を踏まえた措置内容）量的診療録監査は、全退院患者について、診療情報管理室にて以下の8項目について量的診療録監査を毎日行っている。項目は、毎日のカルテ記載の有無・手術記録の有無・麻酔記録の有無・看護手術記録の有無・入院診療計画書の有無・退院サマリの有無・看護サマリの有無・退院支援計画書である。量的診療録監査結果は、診療情報管理委員会において審議し、各部署診療科にフィードバックし、病院管理者連絡会で報告している。

■2023年7月5日：確認審査 受審

■2023年9月1日：「一般病院3」…認定留保。6ヶ月後に再審査受審となった。

【改善指摘事項と指摘事項に対する取り組み】

1.4.2 全病棟対象のCAUTIサーベイランスを早急に開始し、継続的に実践してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）2023年7月の審査結果を受け、CAUTIサーベイランスの開始を前倒しすることを決定。分母情報の取得のためにシステム改修が必要となり、2023年10月から可能となった。遡ることが可能であった2023年8月分から集計を開始。

他のサーベイランスと同様に、毎月の院内感染対策委員会での報告を開始した。

■2024年4月12日：再審査受審

【結果】認定

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

がん研究会有明病院ホームページ掲載

・評価を踏まえ講じた措置

本審査時に、全病棟を対象としたCAUTIサーベイランスが実施されていないことについて指摘を受けてシステム改修を行い、2023年10月にCAUTIサーベイランスが実施可能となり、分析結果は毎月の院内感染対策委員会に報告している。

尚、SSIサーベイランスは計画通り対象診療科の拡大に取り組んでおり、2024年3月時点で、2023年度に新設した脳神経外科を除く、すべての外科系診療科で実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> 基準の主な内容
1. 当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者 当会の使命、価値観、将来展望への理解、その実現にむけたリーダーシップの発揮、継続的かつ確実に病院経営を推進する姿勢と指導力等
2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 医療安全管理業務の経験や、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等
3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 当院内外での組織管理経験、高度な医療を担う医療機関の管理運営上必要な資質・能力等
4. 高度先進医療開発のため、臨床研究について十分な知見を有し、関係する法律や倫理指針を遵守し、病院長として臨床研究を実践・指導する能力を有している者
5. 医師免許を有していること <ul style="list-style-type: none"> 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） 公表の方法 公益財団法人 がん研究会ホームページ https://www.jfcr.or.jp/press_release/disclosure/index.html

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無			
<ul style="list-style-type: none"> 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） 公表の方法 	有・無			
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための
合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 病院運営会議・・・病院の運営に関する重要事項について 経営会議・・・経営に関する基本事項及び重要な個別業務の執行に関する事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 病院管理者連絡会議で、各部門リーダーに伝達 院内グループウェア（デスクネット）で周知 デジタルサイネージで周知 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） ・ 公表の方法：閲覧の申し込みがあれば対応 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） 理事会・評議員会で報告し、意見を聴いている。 			
合議体の委員名簿（病院運営会議）			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
佐野 武	○	医師	病院長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
米瀬 淳二		医師	副院長/泌尿器科部長
山口 研成		医師	副院長/消化器化学療法科部長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
高橋 祐		医師	院長補佐/肝胆膵外科部長
高野 利実		医師	院長補佐/乳腺内科部長
陳 劉松		医師	院長補佐/外来化学療法部長
志賀 太郎		医師	院長補佐/総合診療部長
布部 創也		医師	院長補佐/消化器外科胃外科部長
丸山 大		医師	院長補佐/血液腫瘍科部長
笹平 直樹		医師	院長補佐/肝胆膵内科部長
後藤田 卓志		医師	院長補佐/上部消化管内科部長
大橋 学		医師	院長補佐/手術部部長
山口 正和		薬剤師	院長補佐/薬剤部長
笹平 直樹		医師	院長補佐/消化器内科肝・胆・膵内科部長
山本 晃史		総合職	院長補佐/人事部長/総務部長
竹山 聡		総合職	医事部長
田中 正典		総合職	健診センター運営部長

合議体の委員名簿（経営会議）

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
浅野 敏雄	○	総合職	理事長
野田 哲生		研究員	常務理事/研究本部長
佐野 武		医師	常務理事/病院長(病院本部長)
河本 上総		総合職	理事/経営本部長
藤田 直也		研究員	化療センター所長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
米瀬 淳二		医師	副院長/泌尿器科部長
山口 研成		医師	副院長/消化器科学療法科部長
竹内 賢吾		研究員	研究所 副所長
広田 亨		研究員	研究所 副所長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・無 ）
- 公表の方法
ホームページで公開
- 規程の主な内容

第10条 病院本部長（本部長代行）は、理事長の命を受けて、病院本部の業務を統括する。

2 病院副本部長、病院本部長補佐は、病院本部長を補佐するものとし、病院本部長に事故があるとき、又は病院本部長が欠けたときは、病院副本部長、病院本部長補佐が職務を代行する。

3 病院長（病院長代行）は、病院本部長の命を受けて、病院の業務を掌理し、管理及び運営に必要な人事及び予算執行を行う。

- 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

4 副院長は、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理運営等に関する企画立案に関わるとともに、診療、安全、人事、労務、財務、接遇、看護体制、教育、研修、研究等に関する職務等を補佐・分担するものとし、病院長に事故があるとき、又は病院長が欠けたときは、副院長が職務を代行する。

5 病院長補佐は、副院長とともに病院長の職務を補佐する。

6 センター長は、病院長の命を受けて、それぞれのセンターの業務を掌理する。

7 副センター長はセンター長を補佐するものとし、センター長に事故があるとき、又はセンター長が欠けたときは、副センター長が職務を代行する。

- 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

日時：2023年7月2日（日）、8月27日（日）

対象者：医師

日時：2022年11月11日（土）

対象者：研究員・看護師・事務職員・技師等

- 人事考課（中間評価） 考課者研修（e-ラーニング）

日時：2023年8月29日（火）～9月30日（土）

対象者：管理監督者全員

- 人事考課（年度末評価） 考課者研修（e-ラーニング）

日時：2024年2月16日（金）～3月29日（金）

対象者：管理監督者全員

在宅勤務実施にあたっての研修（e-ラーニング）

日時：随時実施

全職員 在宅勤務を実施する管理監督者は全員必須

コンプライアンス室実施分

- 全職員向けコンプライアンス研修 (e-learning研修)
期 間：2024年1月30日～2024年3月31日
対象者：がん研究会全職員（管理監督者も含む）

- 管理職向けハラスメント研修 (e-learning研修)
期 間：2024年3月6日～2024年3月31日
対象者：がん研究会管理監督者（医長以上）全員

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する
監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無				
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、その他必要と認める者の状況について、管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。</p> <p>2) 必要に応じ、当院の開設者又は管理者に対し、医療にかかわる安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行う。</p> <p>3) 上記に掲げる業務について、その結果を公表する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>当院ホームページにて公表</p> <p>https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部教授	○	医療安全に関する業務及び研究への従事経験を有するため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1（医師）
大滝 恭弘	帝京大学医療共通教育研究センター教授		法曹資格を有し、医療安全に関する研究を行っているため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1（弁護士）
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務めており、医療を受ける者の立場の代表となりうるため	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2（医療を受ける者）

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が
法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

- 監事会による監査
- 理事会への監事の出席
- 外部監査人による監査の実施
- 内部監査室による監査の実施
- がん研なんでも相談所の設置と運営
- コンプライアンス委員会の開催

・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)

・ 公表の方法

- 閲覧等の申込みがあれば対応

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による
業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 理事会を月1回開催（8月以外）し、主として病院の経営状況等、病院運営に関する重要事項について監査。 ・ 会議体の実施状況（ 年8回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年8回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ） ・ 公表の方法：閲覧の申込みがあれば、対応。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
浅野 敏雄	(公財)がん研究会 理事長	○	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
野田 哲生	(公財)がん研究会 常務理事・研究本部本部長・がん研究所所長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
佐野 武	(公財)がん研究会 常務理事・病院本部本部長・有明病院病院長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
河本 上総	(公財)がん研究会 理事・経営本部本部長		<input checked="" type="checkbox"/> ・無
石岡 千加史	JR仙台病院 院長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
市川 秀夫	(株)レゾナック・ホールディングス 相談役		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
伊藤 かつら	元日本マイクロソフト株式会社 執行役		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
伊東 信一郎	ANA ホールディングス(株)特別顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
内田 幸雄	ENEOS ホールディングス(株) 名誉顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
柿木 厚司	JFE ホールディングス(株)特別顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
工藤 泰三	日本郵船(株) 特別顧問		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
国土 典宏	国立研究開発法人国立国際医療研究センター 理事長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
齊藤 光江	順天堂大学医学部乳腺腫瘍学講座 特任教授		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
高岡 英則	三菱金曜会 事務局長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
広瀬 道明	東京ガス(株) 相談役		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
松田 美紀子	元慶應義塾大学病院 事務局長・看護部長		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
宮園 浩平	東京大学大学院医学系研究科応用病理学 卓越教授		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に
疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 通報件数 (年 0件)
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策
その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有 ・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 ・ 無)
- ・ 周知の方法
 - 医療安全マニュアルへの掲載及び配布
 - 入職時研修会での共有・院内グループウェア（デスクネッツ）への掲載